

Canon

EOS M2

EOS M2 (W)

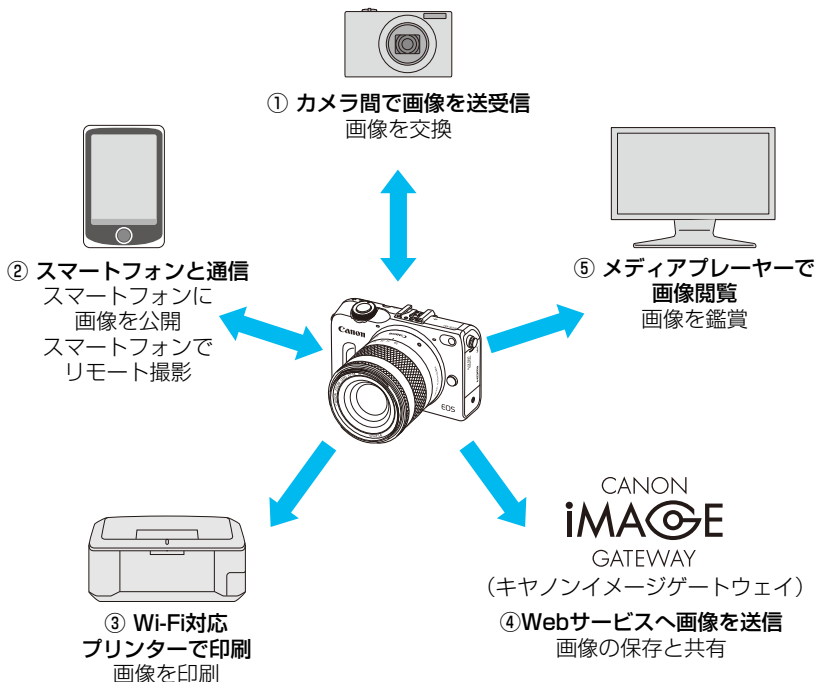
Wi-Fi機能 使用説明書

J

使用説明書

無線LAN できること

Wi-Fi® (ワイファイ) や、本機の無線LAN機能と互換性のある製品と無線で接続し、画像の送受信やカメラの操作などができます。



- CANON iMAGE GATEWAYのWebサービスは、国/地域によっては対応していない場合があります。CANON iMAGE GATEWAYのサービスに対応している国/地域の情報は、キヤノンのWebサイト(<http://canon.com/cig>)でご確認ください。
- 国/地域によっては「Webサービスへ画像を送信」の設定が、パソコンからできない場合があります。

① 📷 カメラ間で画像を送受信 (p.17)

無線LAN機能を内蔵した、キヤノン製のカメラ同士で画像の送受信ができます。

② 📱 スマートフォンと通信 (p.27、61)

スマートフォンでカメラ内の画像を見たり、カメラの操作ができます。スマートフォンに専用アプリケーション「EOS Remote」をインストールして使用します。

③ 🖨️ Wi-Fi対応プリンターで印刷 (p.39、71)

無線LANで使えるPictBridge (Wireless LAN) に対応したプリンターに接続して、画像の印刷ができます。

④ 🌐 Webサービスへ画像を送信 (p.79)

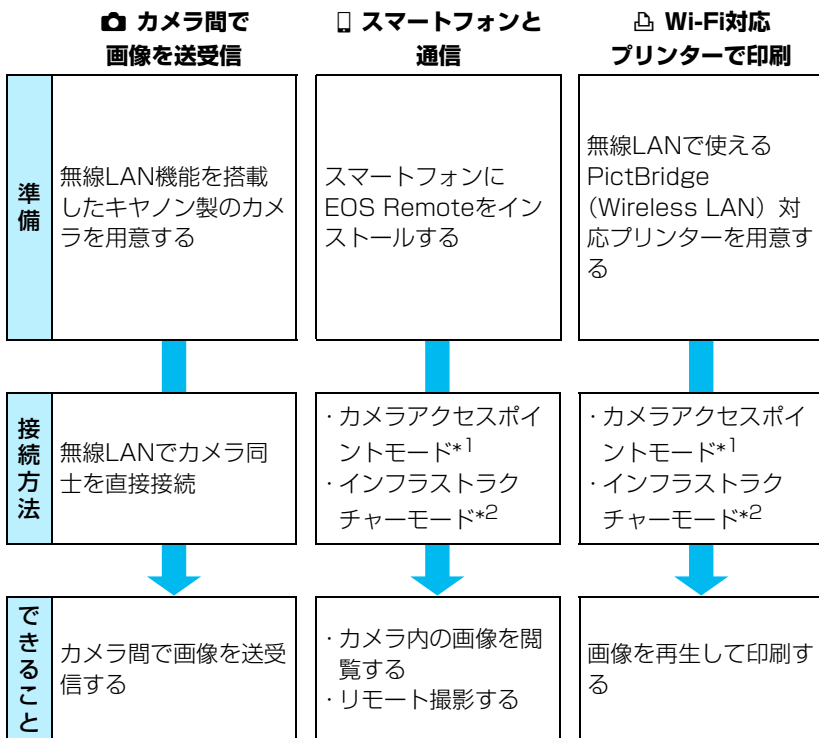
キヤノンユーザーのためのオンラインフォトサービスである、CANON IMAGE GATEWAY (登録無料) に画像を保存したり、保存した画像を家族や友人に見せることができます。

⑤ 📺 メディアプレーヤーで画像閲覧 (p.101)

カメラ内のカードに記録された画像を、DLNA*対応のメディアプレーヤーを使用して、無線LAN経由でテレビに映せます。

* Digital Living Network Alliance (デジタル リビング ネットワーク アライアンス)

Wi-Fi機能を使うまでの流れ



*1 カメラアクセスポイントモード：

カメラとスマートフォン、カメラとプリンターを無線LANで直接接続できる、手軽な無線LANモードです。

*2 インフラストラクチャーモード：

無線LANアクセスポイントを経由して各Wi-Fi機器に接続する無線LANモードです。各Wi-Fi機器が離れた場所にあっても、無線LANアクセスポイントが近くにあれば通信できます。

🌐 **Webサービスへ
画像を送信**

📺 **メディアプレーヤーで
画像閲覧**

準備

- ・EOS Utilityがインストールされているパソコンと、インターネットに接続できる無線LANのアクセスポイントを用意する
- ・CANON iMAGE GATEWAYに会員登録する
- ・Webサービスが利用できるようにカメラを設定する

- ・DLNA対応の機器と、無線LANのアクセスポイントを用意する
- ・テレビにメディアプレーヤーを接続する

接続方法

- ・インフラストラクチャーモード*2

- ・インフラストラクチャーモード*2

できること

- ・Webサービスへ画像を送信する
- ・知り合いにメールを送信する

メディアプレーヤーを操作して、カメラ内の画像を閲覧する



- CANON iMAGE GATEWAYのWebサービスは、国/地域によっては対応していない場合があります。CANON iMAGE GATEWAYのサービスに対応している国/地域の情報は、キヤノンのWebサイト(<http://canon.com/cig>)でご確認ください。
- 国/地域によっては「Webサービスへ画像を送信」の設定が、パソコンからできない場合があります。

本使用説明書上のおことわり

- 本書は、Wi-Fiとキヤノン独自の無線機能を総称して「無線LAN」と表記しています。
また、無線LANの接続を中継する無線LAN端末（無線LANアクセスポイントまたは無線LANアダプター）を、「アクセスポイント」と表記しています。
- 本文中の [] 内の語句は、パソコン画面上に表示されるボタン名称や、アイコン名称などを示しています。また、カメラのメニューに表示される内容を示しています。
- 本文中の (p.**) の**は、参照ページを示しています。
- 本文中の以下のマークの付いた欄は、それぞれ次のような内容について説明しています。
 - ⚠: 使用する際に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。
 - 📄: 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- カメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- UPnPは、UPnP Implementers Corporationの商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

本機を使用するために、誤った無線LAN設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機を使用した結果生じた損害に対しても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。

章目次

	はじめに	2
1	無線LAN機能の基本設定	11
2	カメラ間で画像を送受信	17
3	スマートフォンと通信-1	27
4	Wi-Fi対応プリンターで印刷-1	39
5	Wi-Fiの無線LANアクセスポイントを利用する	47
6	スマートフォンと通信-2	61
7	Wi-Fi対応プリンターで印刷-2	71
8	Web サービスへ画像を送信	79
9	メディアプレーヤーで画像閲覧	101
10	再生画面から無線LAN に接続する	107
11	設定の確認／変更／初期化	111
12	トラブルシューティング	117
13	資料	135

目次

はじめに	2
無線 LAN でできること	2
Wi-Fi 機能を使うまでの流れ	4
本使用説明書上のおことわり	6
章目次	7
目次	8
1 無線 LAN 機能の基本設定	11
ニックネームを登録する	12
基本的な操作と設定	15
2 カメラ間で画像を送受信	17
接続先を選ぶ	18
画像を送信する	20
再接続する	24
複数の接続設定を登録する	25
設定の名称を変更する	26
3 スマートフォンと通信 -1	27
事前準備	28
カメラアクセスポイントモードで接続する	29
スマートフォンでカメラを操作する	32
再接続する	34
公開する画像を設定する	35
複数の接続設定を登録する	38
4 Wi-Fi 対応プリンターで印刷 -1	39
カメラアクセスポイントモードで接続する	40
印刷する	42
再接続する	45
複数の接続設定を登録する	46

5	Wi-Fiの無線LANアクセスポイントを利用する	47
	アクセスポイントの種類を確認する	48
	WPS (PBC方式) で簡単接続	49
	WPS (PIN方式) で簡単接続	52
	ネットワークを検索して手動で接続	55
6	スマートフォンと通信 -2	61
	インフラストラクチャーモードで接続する	62
	スマートフォンでカメラを操作する	64
	再接続する	66
	公開する画像を設定する	67
	複数の接続設定を登録する	70
7	Wi-Fi対応プリンターで印刷 -2	71
	インフラストラクチャーモードで接続する	72
	印刷する	73
	再接続する	76
	複数の接続設定を登録する	77
8	Webサービスへ画像を送信	79
	事前準備	80
	アクセスポイントの種類を確認する	82
	WPS (PBC方式) で簡単接続	83
	WPS (PIN方式) で簡単接続	86
	ネットワークを検索して手動で接続	89
	Webサービスに画像を送信する	93
	再接続する	98
	複数の接続設定を登録する	99

9	メディアプレーヤーで画像閲覧	101
	撮影した画像をテレビに映す	102
	再接続する	104
	複数の接続設定を登録する	105
10	再生画面から無線 LAN に接続する	107
	再生画面から接続する	108
11	設定の確認／変更／初期化	111
	設定の確認と変更	112
	無線 LAN の設定を初期化する	114
12	トラブルシューティング	117
	エラー表示の対応	118
	故障かな?と思ったら	127
	無線 LAN での注意事項	128
	ネットワークを手動で設定する	130
	IP アドレスを手動で設定する	132
	ネットワークの設定を確認する	134
13	資料	135
	主な仕様	136
	索引	137

1

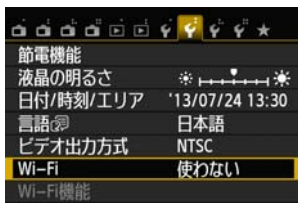
無線 LAN 機能の基本設定

この章では、カメラの無線LAN機能を使用する前に必要な設定について説明しています。

ニックネームを登録する

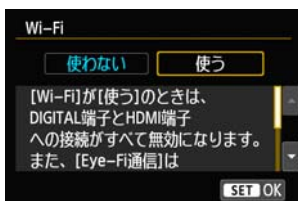
はじめに、カメラにニックネーム（名前）を付けます。

このニックネームは、無線LANで他の機器と接続するときに、接続先の機器で表示されます。必ず設定してください。



1 [Wi-Fi] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を選び、〈SET〉を押します。



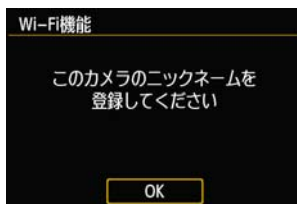
2 [使う] を選ぶ

- <◀> <▶> を押して [使う] を選び、〈SET〉を押します。
- [Wi-Fi機能] が選択できるようになります。



3 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi機能] を選び、〈SET〉を押します。
- 初めて設定するときは、ニックネームの登録を促す画面が表示されます。[OK] を選んで手順4に進んでください。





4 ニックネームを入力する

- 入力方法は、次ページの『仮想キーボードの操作方法について』を参照してください。
- 最大16文字入力できます。



5 終了する

- 入力が終わったら [OK] を選びます。
- 確認画面で [OK] を選んで <SET> を押すと、ニックネームが登録され、[Wi-Fi機能] 画面に進みます。



- ニックネームを変更するときは、上記の画面で <INFO> ボタンを押し、表示される画面で [ニックネーム変更] を選びます。



仮想キーボードの操作方法について



- **入力エリアの切り換え**
〈INFO〉ボタンを押すと、上下の入力エリアが交互に切り換わります。
- **カーソルの移動**
上側のエリアで〈◀〉〈▶〉を押すと、カーソルが移動します。

● 文字の入力

下側の入力エリアで〈◆〉を押して文字を選び、〈SET〉を押して文字を入力します。

画面右上の「*/」で、入力した文字数と入力できる文字数を確認できます。

● 入力モードの切り換え

下側のエリアで[Aa=1@]を選びます。〈SET〉を押すたびに、小文字→数字/記号1→数字/記号2→大文字に切り換わります。

● 文字の削除

〈MENU〉ボタンを押すと1文字消去されます。

● 入力の終了

下側のエリアで[OK]を選ぶと、入力を確定して終了します。確認画面が表示されたときは、[OK]を選んで終了します。

● 入力のキャンセル

下側のエリアで[キャンセル]を選ぶと、入力をキャンセルして終了します。確認画面が表示されたときは、[OK]を選んで終了します。

基本的な操作と設定

無線LAN機能使用中の操作について

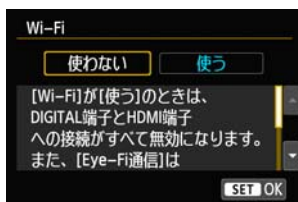
- 無線LAN機能を優先したいときは、シャッターボタンやモードダイヤル、再生ボタン、カード/電池室ふたなどを操作しないでください。撮影操作や再生操作を優先して、無線LAN機能が途中で終了することがあります。
- [42] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定しているときは、カメラとパソコン、プリンター、GPSレシーバー、テレビなどを、ケーブルで接続しても使用できません (p.16)。

節電機能について



- 必要に応じて [42] タブの [節電機能] で、[液晶の消灯] を長めに設定してください。
- 無線LANの接続中にカメラの節電機能が働いた場合は、接続を終了します。

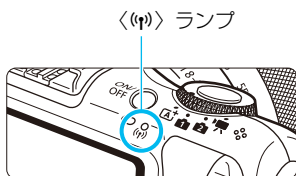
[42] タブ [Wi-Fi] について



- 飛行機内や病院内などで、電子機器や無線機器の使用が禁止されているときは、[Wi-Fi] を [使わない] に設定してください。
- [Wi-Fi] を [使わない] に設定しているときは、[42] タブの [Wi-Fi機能] を選択できません。

Wi-Fiの接続状態について

カメラの〈Wi-Fi〉ランプでWi-Fiの通信状態を確認できます。

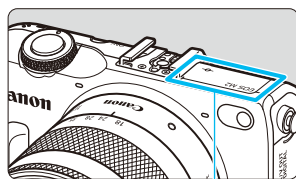


接続状態	〈Wi-Fi〉ランプ
接続中	点灯
送信中／転送中／受信中	速く点滅
接続設定中／再接続待機中	遅く点滅
接続エラー	やや速く点滅

タッチ操作について

無線LANの操作も、タッチ操作ができます。詳しくは、カメラ使用説明書の『画面にタッチして操作する』を参照してください。

Wi-Fi通信部について



Wi-Fi通信部

- Wi-Fi通信部を手や物などでふさがないようにください。通信速度が遅くなったり、接続が途切れることがあります。

ケーブル接続時の注意事項

- [F2: Wi-Fi] を [使う] に設定しているときは、インターフェースケーブルやステレオAVケーブル、HDMIケーブルの接続が無効になります。[使わない] に設定してからケーブルを接続してください。

- ケーブルでパソコン、プリンター、GPSレシーバー、テレビなどに接続しているときは、[Wi-Fi]の設定を変更できません。ケーブルを抜いてから設定してください。

カードについて

- カメラにカードが入っていないときは、無線LANに接続できません。また、[凸] [⊕] [□] では、カードに画像が記録されていないときも、無線LANに接続できません。

Eye-Fiカードの使用について

- [F2: Wi-Fi] を [使う] に設定しているときは、Eye-Fiカードでの画像転送はできません。

2

カメラ間で画像を送受信

無線LAN機能を持つキヤノン製のカメラ同士で、画像を送受信できます。



- 無線接続できるのは、2012年以降に発売されたキヤノン製の無線LAN機能内蔵カメラです。なお、キヤノン製の無線LAN機能内蔵ビデオカメラとは接続できません。
- Eye-Fiカードに対応していても、無線LAN機能を内蔵していないキヤノン製カメラとは接続できません。
- 静止画はJPEG画像のみ送受信できます。
- 動画も送受信できますが、受信したカメラの仕様によっては、再生できないことがあります。また、MP4形式の動画は送受信できません。

接続先を選ぶ

無線LANで接続する相手のカメラを登録します。なお、一度に接続できるカメラは1台だけです。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [📷] を選ぶ

- <📷> を押して [📷] (カメラ間で画像を送受信) を選び、<SET> を押します。
- ➔ カメラの <📷> ランプが点滅します。



3 接続先のカメラを設定する


- 左の画面が表示されたら、接続先のカメラでも接続の設定を行います。操作方法については、接続先のカメラの使用説明書を参照してください。
- 接続が完了すると、設定を自動的に保存したあとで、カード内の画像が表示されます。




- ➔ カメラの <📷> ランプが青色に点灯します。

4 送信する画像を選ぶ

- 送信する側のカメラで画像を選びます (p.20)。
- 受信する側のカメラでは、何も操作をしないでください。

 受信した画像にGPS情報が付加されていても、カメラの再生画面でGPS情報は表示されません。なお、ソフトウェアのMap Utility (マップユーティリティ) を使用すると、パソコンの地図上に撮影場所を表示できます。

- 
- 接続したときの設定は、接続したカメラのニックネームで自動的に保存・登録されます。
 - 他のカメラと接続中は、節電機能は働きません。

画像を送信する

1枚ずつ送信する

選んだ画像を1枚ずつ送信します。



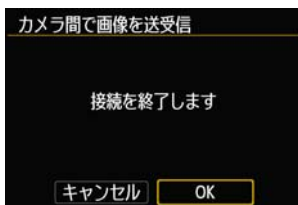
1 送信する画像を選ぶ

- 〈◀〉 〈▶〉 を押して送信する画像を選び、〈SET〉を押します。
- インデックス表示からも選べます。



2 [この画像を送信] を選ぶ

- [画像サイズ縮小] を選んで〈SET〉を押すと、送信する画像サイズを選択できます。
- 〈◀〉 〈▶〉 を押して [この画像を送信] を選び、〈SET〉を押します。
- 送信状態を示す画面が表示され、送信が終了すると手順1の画面に戻ります。
- 続けて送信するときは、手順1、2を繰り返します。



3 接続を終了する

- 〈MENU〉 ボタンを押すと、確認画面が表示されます。〈◀〉 〈▶〉 を押して [OK] を選び、〈SET〉 を押して接続を終了します。
- [Wi-Fi機能] 画面に戻ります。

画像を選んで送信する

複数の画像を選択して送信します。



1 〈SET〉を押す



2 [選んで送信] を選ぶ

- [画像サイズ縮小] を選んで〈SET〉を押すと、送信する画像サイズを選択できます。
- 〈◀〉〈▶〉を押して[選んで送信]を選び、〈SET〉を押します。



3 送信する画像を選ぶ

- 〈◀〉〈▶〉を押して送信する画像を選び、〈SET〉を押します。
- ➔ 送信する画像の左上に[✓]が表示されません。



- 広げた指2本を液晶モニターに触れたまま閉じると、3画像表示で選べます。閉じた指2本を液晶モニターに触れたまま開くと、1枚表示に戻ります。
- 送信する画像の選択が終わったら、〈▲〉を押します。



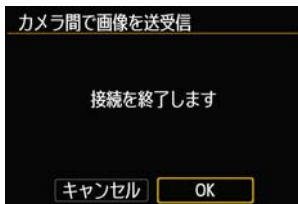
4 画像サイズを縮小する

- 必要に応じて設定します。
- 表示される画面で〈▲〉〈▼〉を押して画像サイズを選び、〈SET〉を押します。



5 画像を送信する

- 〈▲〉〈▼〉を押して [送信] を選び、〈SET〉を押して送信します。
- 送信状態を示す画面が表示され、送信が終了すると手順1の画面に戻ります。
- 続けて送信するときは、手順1～5を繰り返します。



6 接続を終了する

- 〈MENU〉ボタンを押すと、確認画面が表示されます。〈◀〉〈▶〉を押して [OK] を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。
- [Wi-Fi機能] 画面に戻ります。



- 接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続が終了します。なお、送信中および受信中は、撮影などの操作はできません。送信側のカメラで [キャンセル] を選ぶと、画像の送受信が中断されて、撮影などの操作ができるようになります。
- 送信する枚数が多いときやファイルサイズ（合計容量）が大きいたきは、電池の残量にご注意ください。



- RAW画像は送信できません。
- 一度に50ファイルまで選択できます。
- 画像を縮小するときは、同時に送信する画像がすべて縮小されますが、動画や選択した画像サイズより小さい画像は縮小されません。
- [S2に縮小]、[S3に縮小] が有効になるのは、EOS M2で撮影された静止画だけです。それ以外のカメラで撮影された画像は、サイズを縮小せずに送信されます。
- ファイルサイズ（合計容量）は、縮小する前のサイズが表示されます。
- 送信中や受信中は、カメラの〈L〉ランプが速く点滅します。

再接続する

接続設定を登録したカメラに再度接続します。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [カメラ] を選ぶ

- [カメラ] (カメラ間で画像を送受信) を選び、〈SET〉を押します。



3 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- 接続先のカメラでも再接続の操作を行います。
- ➔ カード内の画像が表示され、送信する画像が選択できるようになります。
- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。
- 設定の名称は、初期設定では接続先カメラのニックネームが表示されます。

再接続先のカメラがWi-Fi設定初期化 (p.114) を行うと、再接続できなくなります。
[設定の確認と変更] を選び、設定内容を変更してください (p.113)。

複数の接続設定を登録する

カメラ間の接続設定を、3つまで登録できます。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [カメラ] を選ぶ

- [カメラ] (カメラ間で画像を送受信) を選び、〈SET〉を押します。




3 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。



4 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。
→ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、接続設定を行ってください。

 設定の名称は、あとから変更できます (p.26)。

設定の名称を変更する

再接続するときに表示される設定の名称は、あとから変更できます。



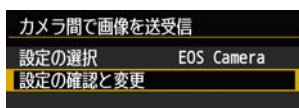
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



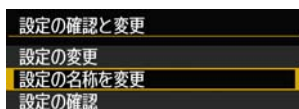
2 [カメラ] を選ぶ

- [カメラ] (カメラ間で画像を送受信) を選び、〈SET〉を押します。



3 [設定の確認と変更] を選ぶ

- [設定の確認と変更] を選び、〈SET〉を押します。



4 [設定の名称を変更] を選ぶ

- [設定の名称を変更] を選び、〈SET〉を押します。



5 設定の名称を変更する

- 仮想キーボードで設定の名称を変更します (p.14)。最大30文字入力できます。
- 入力が終わったら〈MENU〉ボタンを押します。
- 確認画面で [OK] を選んで〈SET〉を押すと、変更が完了します。

3

スマートフォンと通信 -1

スマートフォンと通信して、スマートフォンからカメラ内の画像閲覧や操作、画像の受信ができるほか、スマートフォンを使用してリモート撮影ができます。



モードダイヤルが〈●●〉のときはスマートフォンと接続できません。

事前準備

スマートフォンにEOS Remoteをインストールする

スマートフォンと通信を行うには、専用アプリケーションのEOS Remoteを使用してスマートフォンに接続します。

- EOS Remoteは、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードできます。接続するスマートフォンにEOS Remoteをインストールしてから接続操作を行ってください。
- EOS Remoteを使うためには、iOSまたはAndroidがインストールされたスマートフォンが必要です。対応OSの情報は、EOS Remoteのダウンロードサイトでご確認ください。

カメラアクセスポイントモードで接続する

カメラとスマートフォンを無線LANで直接接続します。

アクセスポイントがなくても接続できるので、外出先でも手軽に通信できます。なお、接続するためにはスマートフォンの操作が必要です。詳しくは、スマートフォンの使用説明書を参照してください。



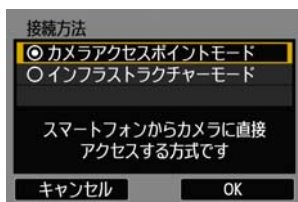
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



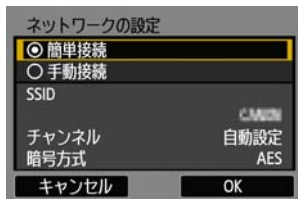
2 [☐] を選ぶ

- [☐] (スマートフォンと通信) を選び、<SET> を押します。
- カメラの (P) ランプが点滅します。



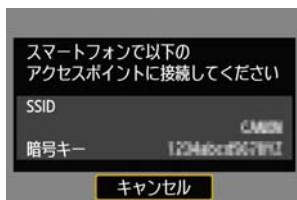
3 [カメラアクセスポイントモード] を選ぶ

- <▲> <▼> を押して [カメラアクセスポイントモード] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。



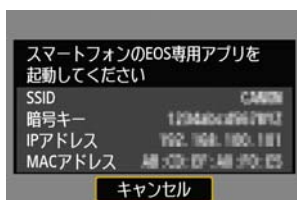
4 [簡単接続] を選ぶ

- <▲> <▼> を押して [簡単接続] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。
- 手動で接続する場合は、130ページを参照してください。



5 スマートフォンを操作してカメラに接続する

- お使いのスマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラの液晶モニターに表示されるSSID（ネットワーク名）を選択します。
- パスワード欄には、カメラの液晶モニターに表示される暗号キーを入力します。
- ➔ スマートフォンの操作が完了していても、自動的に次の画面に進む場合があります。



6 スマートフォンのEOS Remoteを起動する

- スマートフォンのWi-Fi設定が完了したら、EOS Remoteを起動します。



7 スマートフォンで【カメラ接続】を選ぶ

- EOS Remoteの【カメラ接続】を選びます。



8 スマートフォンで接続するカメラを選ぶ

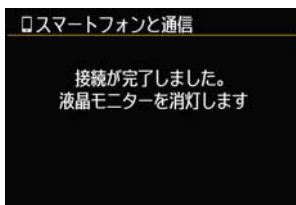
- EOS Remoteの【検出カメラの一覧】から、接続するカメラを選びます。
- ➔ ペアリングが開始されます。



英数字以外の文字は、□で表示されます。

9 カメラを接続する

- ペアリングが終了すると、カメラに左の画面が表示されます。〈◀〉〈▶〉を押して[OK]を選び、〈SET〉を押します。
- 公開する画像を設定する (p.35) のときは、〈INFO〉ボタンを押します。
- ➔ カメラの〈(P)〉ランプが青色に点灯します。
- ➔ メッセージが表示された後、カメラの液晶モニターが消灯します。



- これ以降の操作はEOS Remoteで行います (p.32)。

これでスマートフォンとの通信設定は完了です。

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンにインストールしたEOS Remoteを使用して、カメラ内の画像を閲覧したり、リモート撮影などができます。

EOS Remoteのメイン画面



EOS Remoteでは、主に下記の操作ができます。操作方法は、EOS Remoteの画面に触れながら覚えてください。

[カメラ内画像の表示]

- カメラ内の画像を閲覧できます。
- スマートフォンにカメラの画像を保存できます。
- カメラ内の画像に対し、削除などの操作ができます。

[リモート撮影]

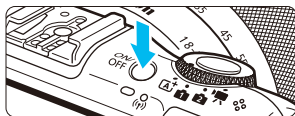
- カメラのライブビュー映像を、スマートフォンの画面に表示できます。
- カメラの設定を変更できます。
- 遠隔操作で撮影できます。

⚙️(設定ボタン)

- EOS Remoteの各種設定ができます。

- 公開する画像を設定する (p.35) と、EOS Remoteの機能が制限されます。
- 接続中にカメラのシャッターボタンを押すと、接続が終了します。
- リモート撮影では、サーボAFで連続撮影しても、撮影が始まるとピントが固定されます。
- リモート撮影では、AF速度が遅くなる場合があります。
- 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、レリーズのタイミングが遅れることがあります。

接続を終了する



接続を終了するときは、下記のいずれかの操作を行ってください。

- EOS Remoteで [] をタッチする
- カメラの電源を〈OFF〉にする



- シャッターボタンを押したときや、モードダイヤルを操作したとき、カード/電池室ふたを開けたときも、接続が終了します。
- 撮影したJPEG画像とRAW画像は、スマートフォンに最適なJPEG画像にリサイズして保存されます。
- 動画は一覧に表示されますが、保存はできません。
- 無線LANの接続中にカメラの節電機能が動いた場合は、接続を終了します。
- 接続の際は、スマートフォンの節電機能をOFFにしておくことをおすすめします。
- スマートフォンにカメラ内の画像を保存しているときは、カメラの〈(P)〉ランプが速く点滅します。

再接続する

接続設定を登録したスマートフォンに再度接続します。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [スマートフォンと通信] を選ぶ

- [スマートフォンと通信] (スマートフォンと通信) を選び、〈SET〉を押します。

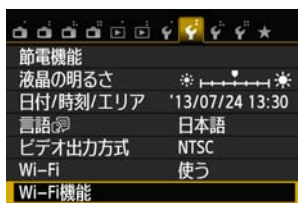


3 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- スマートフォンに再接続します。
- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

公開する画像を設定する

カメラ側の操作で、スマートフォンに公開する画像を設定できます。接続設定中、または接続を終了してから設定します。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



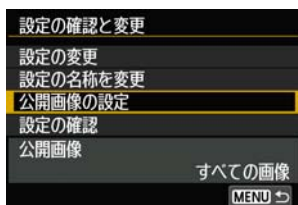
2 [☐] を選ぶ

- [☐] (スマートフォンと通信) を選び、〈SET〉を押します。



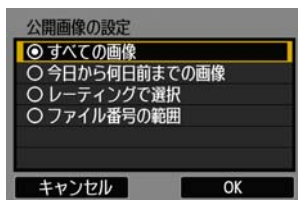
3 [設定の確認と変更] を選ぶ

- [設定の確認と変更] を選び、〈SET〉を押します。



4 [公開画像の設定] を選ぶ

- [公開画像の設定] を選び、〈SET〉を押します。



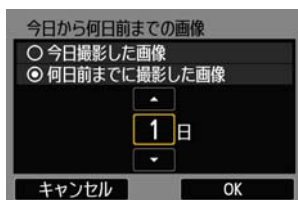
5 項目を選ぶ

- 〈▲〉〈▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、設定画面が表示されます。

[すべての画像]

カード内のすべての画像を公開します。

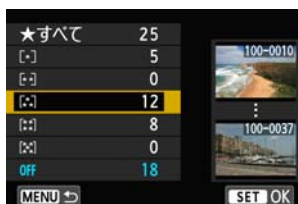
[今日から何日前までの画像]



撮影日で公開する画像を指定します。最大で9日前までの画像を指定できます。

- 〈▲〉〈▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- [何日前までに撮影した画像] のときは、今日から何日前までに撮影した画像を公開するかを指定します。日数が〈☑〉の状態で〈▲〉〈▼〉を押して日数を指定し、〈SET〉を押して確定します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、公開する画像が設定されます。

[レーティングで選択]



レーティングを付加した画像（または付加していない画像）やレーティングの種類で公開する画像を指定します。

- 〈▲〉〈▼〉を押してレーティングの種類を選び、〈SET〉を押すと公開する画像が設定されます。

[ファイル番号の範囲] (範囲で指定)



始点

終点

ファイル番号順に並んだ画像の、開始と終了の画像を選んで公開する画像を指定します。

- 1 <◀> <▶> を押してファイルの始点を選びます。
 - 2 <SET> を押して、画像の選択画面を表示します。
 - <◀> <▶> や <⊙> で画像を選びます。インデックス表示からも選べます。
 - 3 画像を選び、<SET> を押して決定します。
 - 4 同様の操作で、ファイルの終点を設定します。
- 始点に選んだ画像よりも、あとに撮影した画像を選びます。
- 5 始点と終点の設定が終わったら、<▲> <▼> を押して [OK] を選び、<SET> を押します。

複数の接続設定を登録する

スマートフォンとの接続設定を、3つまで登録できます。



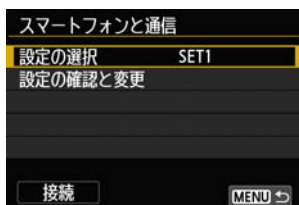
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [☐] を選ぶ

- [☐] (スマートフォンと通信) を選び、〈SET〉を押します。



3 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。



4 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。
→ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、接続設定を行ってください。

4

Wi-Fi 対応プリンターで印刷 - 1

無線 LAN で使える PictBridge (Wireless LAN) に対応したプリンターと無線 LAN 接続して、直接印刷できます。



この製品は、無線 LAN 経由での PictBridge (ピクトブリッジ) でプリンターとつないで印刷できます。PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないで簡単に印刷するための規格です。



〈PictBridge〉モード設定時、マルチショットノイズ低減設定時は、プリンターに接続できません。

カメラアクセスポイントモードで接続する ■

カメラとプリンターを無線LANで直接接続します。アクセスポイントが無くて
も接続できるので、どこでも手軽に印刷できます。

Wi-Fiのアクセスポイント経由で接続するときは、『Wi-Fiの無線LAN アクセス
ポイントを利用する』(p.47)を参照してください。



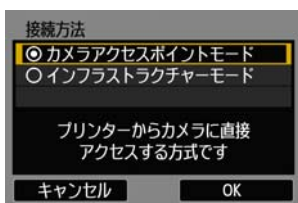
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定した
あとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



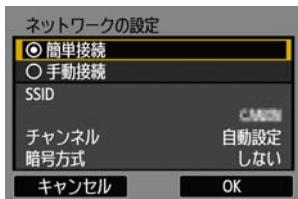
2 [凸] を選ぶ

- [凸] (Wi-Fi 対応プリンターで印刷) を選
び、<SET>を押します。
→ カメラの <(P)> ランプが点滅します。



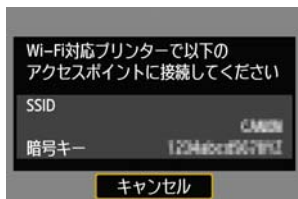
3 [カメラアクセスポイントモード] を選ぶ

- <▲> <▼> を押して [カメラアクセスポイント
モード] を選び、<SET>を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面
に進みます。



4 [簡単接続] を選ぶ

- <▲> <▼> を押して [簡単接続] を選び、<SET>
を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面
に進みます。
- 手動で接続する場合は、130ページを参照
してください。



5 プリンターを操作してカメラに接続する

- お使いのプリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラの液晶モニターに表示されるSSID（ネットワーク名）を選択します。
- パスワード欄には、カメラの液晶モニターに表示される暗号キーを入力します。
- プリンターの操作方法については、プリンターの使用説明書を参照してください。



6 接続するプリンターを選ぶ

- 検出されたプリンターの一覧が表示されたら、接続するプリンターを選び、〈SET〉を押します。
- ➔ プリンターの機種により、電子音が「ピピッ」と鳴ることがあります。
- プリンターが16台以上検出されたときや、3分以上検索を続けたときは、[再検索]が選択できます。
- 接続が完了すると、設定を自動的に保存したあとで、カード内の画像が表示されます。



- ➔ カメラの〈(p)〉ランプが青色に点灯します。

7 印刷する画像を選ぶ

- カメラで画像を選んで印刷します (p.42)。

これでプリンターとの通信設定は完了です。

印刷する

1 枚ずつ印刷する

選んだ画像を1枚ずつ印刷します。



1 印刷する画像を選ぶ

- <◀> <▶> を押して印刷する画像を選び、<SET> を押します。
- インデックス表示からも選べます。



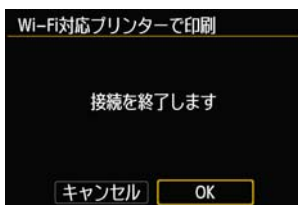
2 【この画像を印刷】 を選ぶ

- <◀> <▶> を押して【この画像を印刷】を選び、<SET> を押します。
- ➔ 印刷設定画面が表示されます。



3 印刷する

- 設定方法は、カメラ使用説明書の『画像の印刷』を参照してください。
- ➔ 印刷が終了すると、手順1の画面に戻ります。続けて印刷するときは、手順1～3を繰り返します。



4 接続を終了する

- <MENU> ボタンを押すと、確認画面が表示されます。<◀> <▶> を押して [OK] を選び、<SET> を押して接続を終了します。
- ➔ [Wi-Fi機能] 画面に戻ります。

指定して印刷する

印刷内容を指定して印刷します。



1 〈SET〉を押す



2 [印刷指定] を選ぶ

- 〈◀〉〈▶〉を押して [印刷指定] を選び、〈SET〉を押します。

→ [印刷指定] 画面が表示されます。



3 印刷内容を設定する

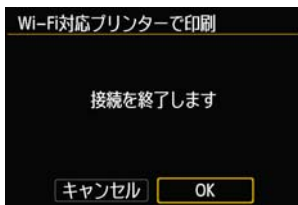
- 設定方法は、カメラ使用説明書の『画像の印刷』を参照してください。



4 印刷する

- [印刷] を選んで 〈SET〉 を押します。
- 表示される画面にしたがって、印刷の操作をします。

→ 印刷が終了すると、手順1の画面に戻ります。



5 接続を終了する

- 〈MENU〉 ボタンを押すと、確認画面が表示されます。〈◀〉 〈▶〉 を押して [OK] を選び、〈SET〉 を押して接続を終了します。
- ➔ [Wi-Fi機能] 画面に戻ります。



- 接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続を終了します。
- 印刷する枚数が多いときやファイルサイズ（合計容量）が大きいたときは、電池の残量にご注意ください。



- 動画は印刷できません。
- 画像の送信中は、カメラの 〈(P)〉 ランプが速く点滅します。

再接続する

接続設定を登録したプリンターに再度接続します。



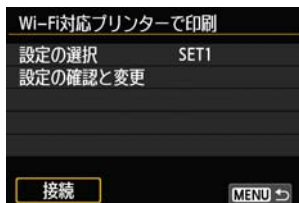
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [凸] を選ぶ

- [凸] (Wi-Fi対応プリンターで印刷) を選び、〈SET〉を押します。



3 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- プリンターに再接続します。
- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

複数の接続設定を登録する

プリンターとの接続設定を、3つまで登録できます。



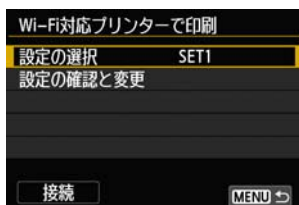
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [凸] を選ぶ

- [凸] (Wi-Fi対応プリンターで印刷) を選び、〈SET〉を押します。



3 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。



4 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。
→ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、接続設定を行ってください。

5

Wi-Fiの無線LANアクセス ポイントを利用する

Wi-Fiの無線LANアクセスポイントを利用すると、下記の無線LAN機能を使用できます。

- ・ スマートフォンと通信
- ・ Wi-Fi対応プリンターで印刷
- ・ Webサービスへ画像を送信*
- ・ メディアプレーヤーで画像閲覧

* Webサービスに画像を送信するときは、この章の説明は読まずに、79ページを参照してください。


スマートフォンと通信について


- [□]（スマートフォンと通信）を使用するためには、あらかじめスマートフォンに、専用アプリケーションのEOS Remoteをインストールしておく必要があります。EOS Remoteは、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードできます。
- EOS Remoteを使うためには、iOSまたはAndroidがインストールされたスマートフォンが必要です。対応OSの情報は、EOS Remoteのダウンロードサイトでご確認ください。

アクセスポイントの種類を確認する

- WPS (Wi-Fi Protected Setup : ワイファイ プロテクトド セットアップ) に対応している場合
 - ・ p.49 : WPS (PBC方式) で簡単接続
 - ・ p.52 : WPS (PIN方式) で簡単接続
- WPSに対応していない場合
 - ・ p.55 : ネットワークを検索して手動で接続

お使いのアクセスポイントがWPSに対応しているか分からないときは、アクセスポイントの使用説明書などを参照して確認してください。

 ネットワーク管理者がいるネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者に設定の詳細をお問い合わせください。

 お使いのネットワークでMACアドレスのフィルタリングをしている場合は、アクセスポイントにカメラのMACアドレスを登録してください。MACアドレスは [共通設定] 画面 (p.115) で確認できます。

WPS (PBC方式) で簡単接続

WPS : Wi-Fi Protected Setup (ワイファイ プロテクトド セットアップ) に対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PBC方式 (プッシュボタン接続方式) では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントを簡単に接続できます。

なお、周囲に複数のアクセスポイントが稼動していると、うまく接続できないことがあります。このような場合は、[WPS (PIN方式)] で接続してください。

アクセスポイントに付いているWPS用ボタンの場所を、あらかじめ確認しておいてください。

接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。



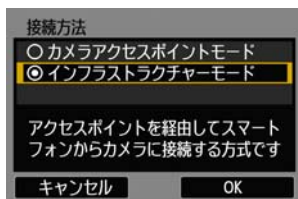
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



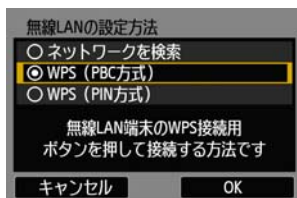
2 項目を選ぶ

- [] [凸] [□] のいずれかを選び、〈SET〉を押します。
→ カメラの 〈(P)〉 ランプが点滅します。



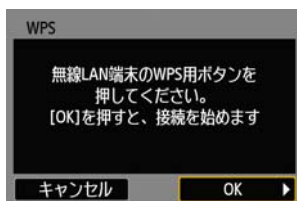
3 [インフラストラクチャーモード] を選ぶ

- [] [凸] を選んだ場合に表示されます。[□] を選んだ場合は、手順4に進んでください。
- 〈▲〉 〈▼〉 を押して [インフラストラクチャーモード] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、次の画面に進みます。



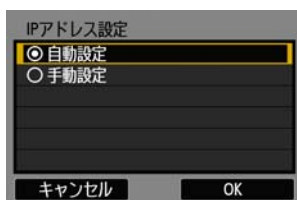
4 [WPS（PBC方式）] を選ぶ

- <▲> <▼> を押して [WPS (PBC方式)] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。




5 アクセスポイントに接続する

- アクセスポイントの WPS 用ボタンを押します。ボタンの場所とボタンを押す時間は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➔ アクセスポイントとの接続が完了すると、[IPアドレス設定] 画面が表示されます。



6 [自動設定] を選ぶ

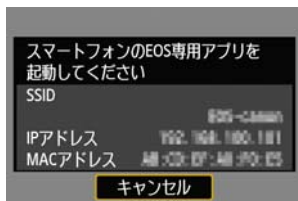
- <▲> <▼> を押して [自動設定] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、通信方法に応じた設定画面が表示されます (p.51)。
- [自動設定] でエラーが表示されたときや手動で設定するときは、132ページを参照してください。

 IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

通信方法に応じた設定を行う

ここからは、接続する機器やサービスの各通信方法に応じた設定画面になります。選択した通信方法の説明ページをお読みください。

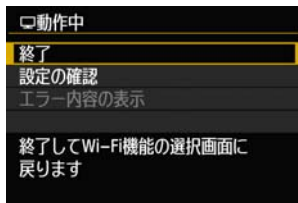
スマートフォンと通信：6章 (p.61)



Wi-Fi対応プリンターで印刷：7章 (p.71)



メディアプレーヤーで画像閲覧：9章 (p.101)



- これでメディアプレーヤーとのネットワーク設定は完了です。
- ➔ カメラの〈(P)〉ランプが青色に点灯します。
- 使用方法については、9章を参照してください。

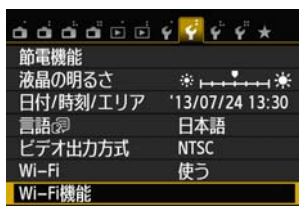
WPS (PIN方式) で簡単接続

WPS : Wi-Fi Protected Setup (ワイファイ プロテクトド セットアップ) に対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PIN方式 (ピンコード接続方式) では、カメラが指定する8桁の識別番号をアクセスポイントに設定して接続します。

周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、共通の識別番号で比較的確実に接続できます。

接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。



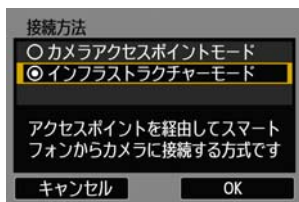
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



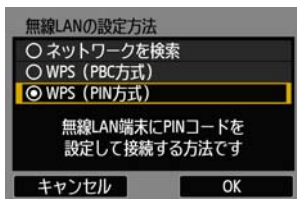
2 項目を選ぶ

- [Q] [凸] [□] のいずれかを選び、〈SET〉を押します。
→ カメラの 〈P〉 ランプが点滅します。



3 [インフラストラクチャーモード] を選ぶ

- [Q] [凸] を選んだ場合に表示されます。[□] を選んだ場合は、手順4に進んでください。
- 〈▲〉 〈▼〉 を押して [インフラストラクチャーモード] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、次の画面に進みます。



4 [WPS (PIN方式)] を選ぶ

- <▲> <▼> を押して [WPS (PIN方式)] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。



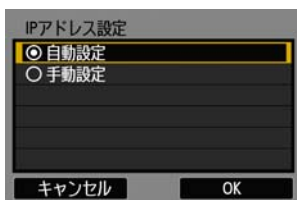
5 アクセスポイントにPINコードを設定する

- カメラの液晶モニターに表示される 8 桁の PINコードを、アクセスポイントに設定します。
- アクセスポイントへの PIN コードの入力方法は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- PINコードを設定したら [OK] を選び、<SET> を押します。



6 アクセスポイントに接続する

- [OK] を選んで <SET> を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➔ アクセスポイントとの接続が完了すると、[IPアドレス設定] 画面が表示されます。



7 [自動設定] を選ぶ

- <▲> <▼> を押して [自動設定] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、通信方法に応じた設定画面が表示されます (p.54)。
- [自動設定] でエラーが表示されたときや手動で設定するときは、132ページを参照してください。

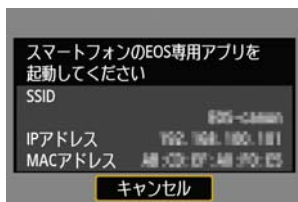


IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

通信方法に応じた設定を行う

ここからは、接続する機器やサービスの各通信方法に応じた設定画面になります。選択した通信方法の説明ページをお読みください。

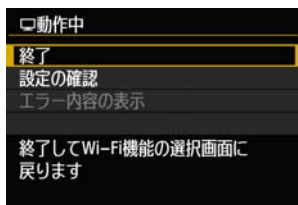
スマートフォンと通信：6章 (p.61)



Wi-Fi対応プリンターで印刷：7章 (p.71)



メディアプレーヤーで画像閲覧：9章 (p.101)



- これでメディアプレーヤーとのネットワーク設定は完了です。
- カメラの〈(p)〉ランプが青色に点灯します。
- 使用方法については、9章を参照してください。

ネットワークを検索して手動で接続

〔ネットワークを検索〕を選ぶと、近くで稼働中のアクセスポイントの一覧とその情報が表示されます。接続するアクセスポイントのSSID（またはESS-ID）を選びます。

無線LANの接続先を選ぶ



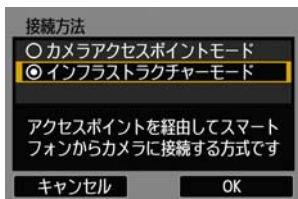
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



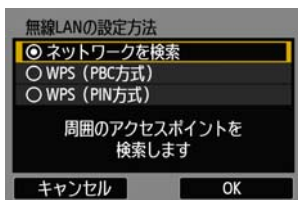
2 項目を選ぶ

- [] [凸] [□] のいずれかを選び、〈SET〉を押します。
→ カメラの 〈(P)〉 ランプが点滅します。



3 [インフラストラクチャーモード] を選ぶ

- [] [凸] を選んだ場合に表示されます。[□] を選んだ場合は、手順4に進んでください。
- 〈▲〉 〈▼〉 を押して [インフラストラクチャーモード] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、次の画面に進みます。



4 [ネットワークを検索] を選ぶ

- 〈▲〉 〈▼〉 を押して [ネットワークを検索] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、次の画面に進みます。



5 アクセスポイントを選ぶ

- 〈SET〉を押すと、アクセスポイントが選択できるようになります。
- 〈▲〉〈▼〉を押してアクセスポイントを選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます (p.57)。

- ①SSIDの先頭部分を表示
- ②アクセスポイントが暗号化されているときはアイコンを表示
- ③使用しているチャンネルを表示

アクセスポイントの暗号化について

このカメラは、下記の [認証方式] と [暗号化の設定] に対応しています。そのため、アクセスポイントの暗号化は、下記のいずれかの設定にしてください。

- [認証方式] : オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK
- [暗号化の設定] : WEP、TKIP、AES

[接続先入力] と [再検索] について

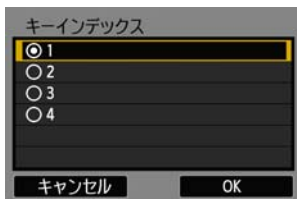
- [接続先入力] を選んで〈SET〉を押すと、手動でアクセスポイントに関する設定ができます。仮想キーボードでSSIDを入力してから、表示される内容に従って設定してください。
- [再検索] を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントを再検索します。

無線LANの暗号キーを設定する

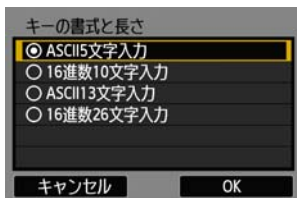
[IPアドレス設定] 画面が表示されているときは、手順9に進んでください。

アクセスポイントに設定されている暗号キーを設定します。設定されている暗号キーについては、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。

なお、下記の手順6～8で表示される画面は、アクセスポイントに設定されている認証方式と暗号方式によって異なります。



- 6 ● [キーインデックス] の画面は、アクセスポイントの暗号方式がWEPのときに表示されます。
- <▲> <▼> を押してアクセスポイントに設定されているキーインデックスの番号を選び、<SET> を押します。
 - [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。

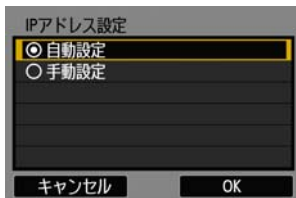


- 7 ● <▲> <▼> を押してキーの書式と長さを選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。




- 8 ● 仮想キーボード (p.14) で暗号キーを入力します。
- [IPアドレス設定] 画面 (p.58) が表示されます。

IPアドレスを設定する



9 [自動設定] を選ぶ

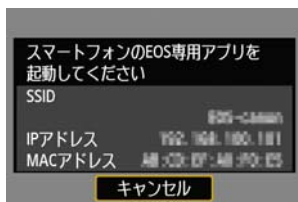
- 〈▲〉〈▼〉を押して [自動設定] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで 〈SET〉を押すと、通信方法に応じた設定画面が表示されます (p.59)。
- [自動設定] でエラーが表示されたときや手動で設定するときは、132ページを参照してください。

 IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

通信方法に応じた設定を行う

ここからは、接続する機器やサービスの各通信方法に応じた設定画面になります。選択した通信方法の説明ページをお読みください。

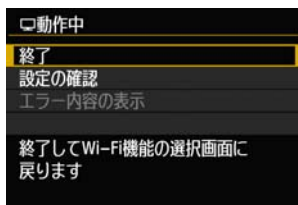
スマートフォンと通信：6章（p.61）



Wi-Fi対応プリンターで印刷：7章（p.71）



メディアプレーヤーで画像閲覧：9章（p.101）



- これでメディアプレーヤーとのネットワーク設定は完了です。
- ➔ カメラの〈P〉ランプが青色に点灯します。
- 使用方法については、9章を参照してください。

6

スマートフォンと通信 -2

スマートフォンと通信して、スマートフォンからカメラ内の画像閲覧や操作、画像の受信ができるほか、スマートフォンを使用してリモート撮影ができます。

スマートフォンがアクセスポイントに接続していることを前提に説明しています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。



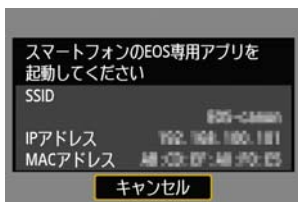
モードダイヤルが〈●●〉のときはスマートフォンと接続できません。

インフラストラクチャーモードで接続する

この項では、5章からの続きを説明しています。

接続するためにはスマートフォンの操作が必要です。詳しくは、スマートフォンの使用説明書を参照してください。

カメラアクセスポイントモードで接続するときは、『カメラアクセスポイントモードで接続する』(p.29)を参照してください。



1 スマートフォンのEOS Remoteを起動する

- カメラに左の画面が表示されたら、スマートフォンのEOS Remoteを起動します。



2 スマートフォンで【カメラ接続】を選ぶ

- EOS Remoteの【カメラ接続】を選びます。



3 スマートフォンで接続するカメラを選ぶ

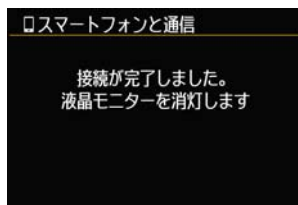
- EOS Remoteの【検出カメラの一覧】から、接続するカメラを選びます。
- 複数のカメラが表示されたときは、カメラの液晶モニターに表示されたMACアドレスで接続するカメラを特定します。
- MACアドレスは、【共通設定】画面 (p.115) でも確認できます。
- ➔ ペアリングが開始されます。



英数字以外の文字は、□で表示されます。

4 カメラを接続する

- ペアリングが終了すると、カメラに左の画面が表示されます。〈◀〉〈▶〉を押して[OK]を選び、〈SET〉を押します。
- 公開する画像を設定する (p.67) ときは、〈INFO〉ボタンを押します。
- ➔ カメラの〈(P)〉ランプが青色に点灯します。
- ➔ メッセージが表示された後、カメラの液晶モニターが消灯します。



- これ以降の操作はEOS Remoteで行います (p.64)。

これでスマートフォンとのネットワーク設定は完了です。

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンにインストールしたEOS Remoteを使用して、カメラ内の画像を閲覧したり、リモート撮影などができます。

EOS Remoteのメイン画面



EOS Remoteでは、主に下記の操作ができます。操作方法は、EOS Remoteの画面に触れながら覚えてください。

[カメラ内画像の表示]

- カメラ内の画像を閲覧できます。
- スマートフォンにカメラの画像を保存できます。
- カメラ内の画像に対し、削除などの操作ができます。

[リモート撮影]

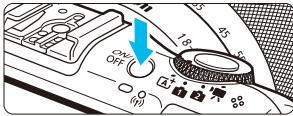
- カメラのライブビュー映像を、スマートフォンの画面に表示できます。
- カメラの設定を変更できます。
- 遠隔操作で撮影できます。

⚙️(設定ボタン)

- EOS Remoteの各種設定ができます。

- 公開する画像を設定する (p.67) と、EOS Remoteの機能が制限されます。
- 接続中にカメラのシャッターボタンを押すと、接続が終了します。
- リモート撮影では、サーボAFで連続撮影しても、撮影が始まるとピントが固定されます。
- リモート撮影では、AF速度が遅くなる場合があります。
- 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、レリーズのタイミングが遅れることがあります。

接続を終了する



接続を終了するときは、下記のいずれかの操作を行ってください。

- EOS Remoteで [🔄] をタッチする
- カメラの電源を〈OFF〉にする



- シャッターボタンを押したときや、モードダイヤルを操作したとき、カード/電池室ふたを開けたときも、接続が終了します。
- 撮影したJPEG画像とRAW画像は、スマートフォンに最適なJPEG画像にリサイズして保存されます。
- 動画は一覧に表示されますが、保存はできません。
- 無線LANの接続中にカメラの節電機能が動いた場合は、接続を終了します。
- 接続の際は、スマートフォンの節電機能をOFFにしておくことをおすすめします。
- スマートフォンにカメラ内の画像を保存しているときは、カメラの〈🔦〉ランプが速く点滅します。

再接続する

接続設定を登録したスマートフォンに再度接続します。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [スマートフォンと通信] を選ぶ

- [スマートフォンと通信] (Smartphone and Communication) を選び、〈SET〉を押します。

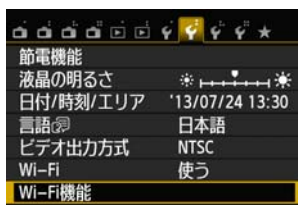


3 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- スマートフォンに再接続します。
- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

公開する画像を設定する

カメラ側の操作で、スマートフォンに公開する画像を設定できます。接続設定中、または接続を終了してから設定します。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



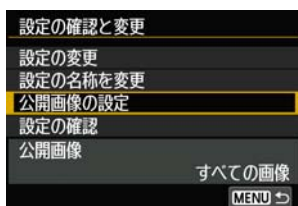
2 [☐] を選ぶ

- [☐] (スマートフォンと通信) を選び、〈SET〉を押します。



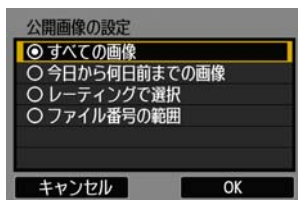
3 [設定の確認と変更] を選ぶ

- [設定の確認と変更] を選び、〈SET〉を押します。



4 [公開画像の設定] を選ぶ

- [公開画像の設定] を選び、〈SET〉を押します。



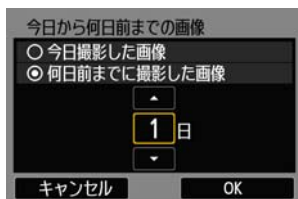
5 項目を選ぶ

- 〈▲〉〈▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、設定画面が表示されます。

[すべての画像]

カード内のすべての画像を公開します。

[今日から何日前までの画像]



撮影日で公開する画像を指定します。最大で9日前までの画像を指定できます。

- 〈▲〉〈▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- [何日前までに撮影した画像] のときは、今日から何日前までに撮影した画像を公開するかを指定します。日数が〈☒〉の状態で〈▲〉〈▼〉を押して日数を指定し、〈SET〉を押して確定します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、公開する画像が設定されます。

[レーティングで選択]



レーティングを付加した画像（または付加していない画像）やレーティングの種類で公開する画像を指定します。

- 〈▲〉〈▼〉を押してレーティングの種類を選び、〈SET〉を押すと公開する画像が設定されます。

[ファイル番号の範囲] (範囲で指定)



始点

終点

ファイル番号順に並んだ画像の、開始と終了の画像を選んで公開する画像を指定します。

- 1 <◀> <▶> を押してファイルの始点を選びます。
 - 2 <SET> を押して、画像の選択画面を表示します。
 - <◀> <▶> や <⊙> で画像を選びます。
インデックス表示からも選べます。
 - 3 画像を選び、<SET> を押して決定します。
 - 4 同様の操作で、ファイルの終点を設定します。
- 始点に選んだ画像よりも、あとに撮影した画像を選びます。
- 5 始点と終点の設定が終わったら、<▲> <▼> を押して [OK] を選び、<SET> を押します。

複数の接続設定を登録する

スマートフォンとの接続設定を、3つまで登録できます。



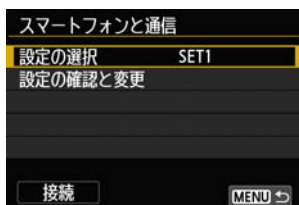
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [☐] を選ぶ

- [☐] (スマートフォンと通信) を選び、〈SET〉を押します。



3 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。



4 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。
→ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、接続設定を行ってください。

7

Wi-Fi 対応プリンターで印刷 -2

無線LAN で使える PictBridge (Wireless LAN) に対応したプリンターと無線LAN接続して、直接印刷できます。

プリンターがアクセスポイントに接続していることを前提に説明しています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。



この製品は、無線LAN 経由でのPictBridge (ピクトブリッジ) でプリンターとつないで印刷できます。PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないで簡単に印刷するための規格です。



〈PictBridge〉モード設定時、マルチショットノイズ低減設定時は、プリンターに接続できません。

インフラストラクチャーモードで接続する ■

この項では、5章からの続きを説明しています。

カメラアクセスポイントモードで接続するときは、『カメラアクセスポイントモードで接続する』(p.40)を参照してください。



1 接続するプリンターを選ぶ

- 検出されたプリンターの一覧が表示されたら、接続するプリンターを選び、〈SET〉を押しします。
- ➔ プリンターの機種により、電子音が「ピピッ」と鳴ることがあります。
- プリンターが16台以上検出されたときや、3分以上検索を続けたときは、[再検索]が選択できます。
- 接続が完了すると、設定を自動的に保存したあとで、カード内の画像が表示されます。



- ➔ カメラの〈(p)〉ランプが青色に点灯します。

2 印刷する画像を選ぶ

- カメラで画像を選んで印刷します (p.73)。

これでプリンターとのネットワーク設定は完了です。

印刷する

1 枚ずつ印刷する

選んだ画像を1枚ずつ印刷します。



1 印刷する画像を選ぶ

- <◀> <▶> を押して印刷する画像を選び、<SET> を押します。
- インデックス表示からも選べます。



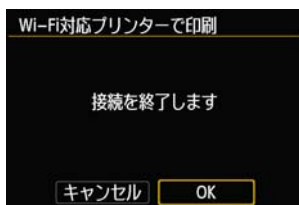
2 【この画像を印刷】 を選ぶ

- <◀> <▶> を押して【この画像を印刷】を選び、<SET> を押します。
- ➔ 印刷設定画面が表示されます。



3 印刷する

- 設定方法は、カメラ使用説明書の『画像の印刷』を参照してください。
- ➔ 印刷が終了すると、手順1の画面に戻ります。続けて印刷するときは、手順1～3を繰り返します。



4 接続を終了する

- <MENU> ボタンを押すと、確認画面が表示されます。<◀> <▶> を押して [OK] を選び、<SET> を押して接続を終了します。
- ➔ [Wi-Fi機能] 画面に戻ります。

指定して印刷する

印刷内容を指定して印刷します。

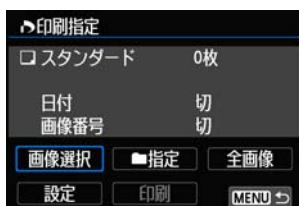


1 〈SET〉を押す



2 [印刷指定] を選ぶ

- 〈◀〉〈▶〉を押して [印刷指定] を選び、〈SET〉を押します。
- [印刷指定] 画面が表示されます。



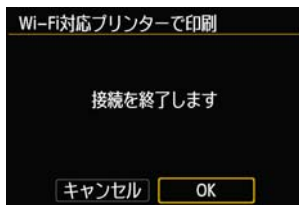
3 印刷内容を設定する

- 設定方法は、カメラ使用説明書の『画像の印刷』を参照してください。



4 印刷する

- [印刷] を選んで 〈SET〉 を押します。
- 表示される画面にしたがって、印刷の操作をします。
- 印刷が終了すると、手順1の画面に戻ります。



5 接続を終了する

- 〈MENU〉 ボタンを押すと、確認画面が表示されます。〈◀〉 〈▶〉 を押して [OK] を選び、〈SET〉 を押して接続を終了します。
- ➔ [Wi-Fi機能] 画面に戻ります。



- 接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続を終了します。
- 印刷する枚数が多いときやファイルサイズ（合計容量）が大ききときは、電池の残量にご注意ください。



- 動画は印刷できません。
- 画像の送信中は、カメラの 〈(P)〉 ランプが速く点滅します。

再接続する

接続設定を登録したプリンターに再度接続します。



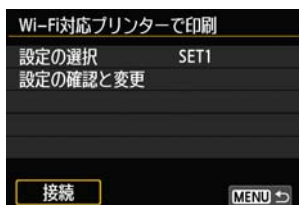
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [凸] を選ぶ

- [凸] (Wi-Fi対応プリンターで印刷) を選び、〈SET〉を押します。



3 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- プリンターに再接続します。
- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

複数の接続設定を登録する

プリンターとの接続設定を、3つまで登録できます。



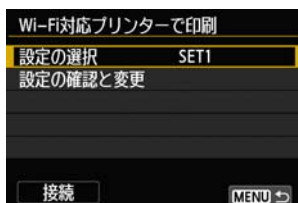
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



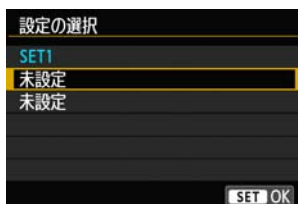
2 [凸] を選ぶ

- [凸] (Wi-Fi対応プリンターで印刷) を選び、〈SET〉を押します。



3 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。



4 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。
→ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、接続設定を行ってください。

MEMO

8

Web サービスへ画像を送信

いろいろなWebサービスをカメラに登録して、カメラ内の画像を送信できます。



- CANON iMAGE GATEWAYのWebサービスは、国/地域によっては対応していない場合があります。CANON iMAGE GATEWAYのサービスに対応している国/地域の情報は、キヤノンのWebサイト(<http://canon.com/cig>)でご確認ください。
- 国/地域によっては「Webサービスへ画像を送信」の設定が、パソコンからできない場合があります。

事前準備

CANON iIMAGE GATEWAYサービスに登録する

Webサービスへ画像を送信するためには、CANON iIMAGE GATEWAYに会員登録（無料）する必要があります。

CANON iIMAGE GATEWAYでは、撮影した画像をオンラインアルバムにして公開できるほか、さまざまなサービスが使用できます。また、登録したWebサービスへ無線で画像を送信したり、オンラインアルバムへのリンクを送信するときも、その橋渡しをするサイトとなります。パソコンなどからインターネットへ接続し、キヤノンのWebサイト (<http://canon.com/cig>) からお住まいの地域のCANON iIMAGE GATEWAYのサイトへアクセスし、画面の指示にしたがって会員登録を行ってください。

CANON iIMAGE GATEWAY以外のWebサービスも利用するときは、続けてそのWebサービスへのアカウント登録を行ってください。詳しくは、各WebサービスのWebサイトを確認してください。

Webサービスを利用するための設定を行う

パソコンのEOS Utilityを起動してCANON iIMAGE GATEWAYにログインし、Webサービスがカメラで利用できるように設定します。

詳しくは、EOS Utility使用説明書（CD-ROM）を参照してください。



- CANON iIMAGE GATEWAYをお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境（プロバイダーとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
- CANON iIMAGE GATEWAYに接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorerなど）のバージョンや設定条件については、CANON iIMAGE GATEWAYでご確認ください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

Webサービスへ画像を送信するための大まかな手順は下記のとおりです。

- 1 EOS Utilityがインストールされたパソコンを用意します。**
カメラに付属のソフトウェアCD-ROMからパソコンにインストールします。
- 2 パソコンからキヤノンのホームページにアクセスし、CANON iIMAGE GATEWAYに会員登録します（無料）。**
すでに登録済みの方は手順3に進んでください。
- 3 カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続します。**
接続前に [▼2:Wi-Fi] を [使わない] に設定してください。
- 4 パソコンのEOS Utilityを起動してCANON iIMAGE GATEWAYにログインし、Webサービスがカメラで利用できるように設定します。**
詳しくは、EOS Utility使用説明書（CD-ROM）を参照してください。
- 5 カメラで無線LANのアクセスポイントに接続します（p.82）。**
インターフェースケーブルを外しておいてください。
- 6 カメラに登録したWebサービスに画像を送信します（p.93）。**
撮影した画像を家族や友人と共有できるように、登録したWebサービスにカメラ内の画像を送信したり、オンラインアルバムへのリンク先を送信できます。





- CANON iIMAGE GATEWAYのサービスに対応している国/地域の情報は、キヤノンのWebサイト (<http://canon.com/cig>) でご確認ください。
- このカメラのWi-Fi機能では、下記のWebサービスがご利用いただけます（2013年10月現在）。
CANON iIMAGE GATEWAY、Facebook、Twitter、YouTube、Flickr、メール

アクセスポイントの種類を確認する

- WPS (Wi-Fi Protected Setup : ワイファイ プロテクトド セットアップ) に対応している場合
 - ・ p.83 : WPS (PBC方式) で簡単接続
 - ・ p.86 : WPS (PIN方式) で簡単接続
- WPSに対応していない場合
 - ・ p.89 : ネットワークを検索して手動で接続

お使いのアクセスポイントがWPSに対応しているか分からないときは、アクセスポイントの使用説明書などを参照して確認してください。

 ネットワーク管理者がいるネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者に設定の詳細をお問い合わせください。

 お使いのネットワークでMACアドレスのフィルタリングをしている場合は、アクセスポイントにカメラのMACアドレスを登録してください。MACアドレスは [共通設定] 画面 (p.115) で確認できます。

WPS（PBC方式）で簡単接続

WPS：Wi-Fi Protected Setup（ワイファイ プロテクトド セットアップ）に対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PBC方式（プッシュボタン接続方式）では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントを簡単に接続できます。

なお、周囲に複数のアクセスポイントが稼動していると、うまく接続できないことがあります。このような場合は、[WPS（PIN方式）]で接続してください。

アクセスポイントに付いているWPS用ボタンの場所を、あらかじめ確認しておいてください。

接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



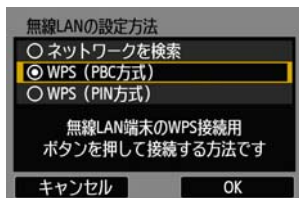
2 [地球儀] を選ぶ

- [地球儀] (Webサービスへ画像を送信) を選び、〈SET〉を押します。



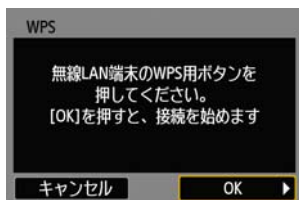
3 Webサービスを選ぶ

- 接続するWebサービスを選び、〈SET〉を押します。
- 表示される項目や順番は、設定によって異なります。
- 接続するWebサービスは、あとから変更することもできます (p.98)。
- ➔ カメラの 〈(P)〉 ランプが点滅します。
- ➔ [送信先] 画面 (p.97) が表示されたときは、送信先を選んでから手順4に進みます。



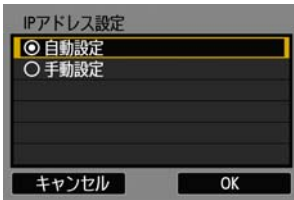
4 [WPS (PBC方式)] を選ぶ

- 〈▲〉 〈▼〉 を押して [WPS (PBC方式)] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、次の画面に進みます。



5 アクセスポイントに接続する

- アクセスポイントの WPS 用ボタンを押します。ボタンの場所とボタンを押す時間は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➔ アクセスポイントとの接続が完了すると、[IPアドレス設定] 画面が表示されます。



6 【自動設定】を選ぶ

- <▲><▼>を押して [自動設定] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、設定を自動的に保存したあとで、カード内の画像が表示されます。



- カメラの <(P)> ランプが青色に点灯します。
- [自動設定] でエラーが表示されたときや手動で設定するときは、132ページを参照してください。

7 送信する画像を選ぶ

- 画像を選んで送信します。送信方法は93ページを参照してください。

これでWebサービスとのネットワーク設定は完了です。



IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

WPS (PIN方式) で簡単接続

WPS : Wi-Fi Protected Setup (ワイファイ プロテクトド セットアップ) に対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PIN方式 (ピンコード接続方式) では、カメラが指定する8桁の識別番号をアクセスポイントに設定して接続します。

周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、共通の識別番号で比較的確実に接続できます。

接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



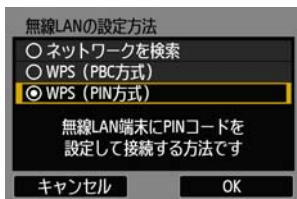
2 [地球儀] を選ぶ

- [地球儀] (Webサービスへ画像を送信) を選び、〈SET〉を押します。



3 Webサービスを選ぶ

- 接続するWebサービスを選び、〈SET〉を押します。
- 表示される項目や順番は、設定によって異なります。
- 接続するWebサービスは、あとから変更することもできます (p.98)。
 - カメラの〈(P)〉ランプが点滅します。
 - [送信先] 画面 (p.97) が表示されたときは、送信先を選んでから手順4に進みます。



4 [WPS (PIN方式)] を選ぶ

- <▲> <▼> を押して [WPS (PIN方式)] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。



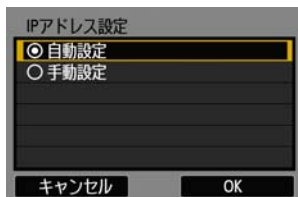
5 アクセスポイントにPINコードを設定する

- カメラの液晶モニターに表示される 8 桁の PINコードを、アクセスポイントに設定します。
- アクセスポイントへの PIN コードの入力方法は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- PINコードを設定したら [OK] を選び、<SET> を押します。



6 アクセスポイントに接続する

- [OK] を選んで <SET> を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➔ アクセスポイントとの接続が完了すると、[IPアドレス設定] 画面が表示されます。



7 [自動設定] を選ぶ

- <▲><▼>を押して [自動設定] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、設定を自動的に保存したあとで、カード内の画像が表示されます。




- カメラの <(P)> ランプが青色に点灯します。
- [自動設定] でエラーが表示されたときや手動で設定するときは、132ページを参照してください。

8 送信する画像を選ぶ

- 画像を選んで送信します。送信方法は 93ページを参照してください。

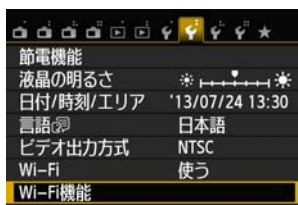
これでWebサービスとのネットワーク設定は完了です。

 IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

ネットワークを検索して手動で接続

〔ネットワークを検索〕を選ぶと、近くで稼働中のアクセスポイントの一覧とその情報が表示されます。接続するアクセスポイントのSSID（またはESS-ID）を選びます。

無線LANの接続先を選ぶ



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



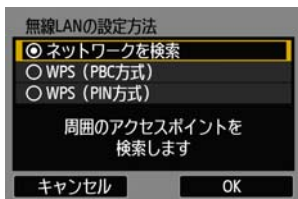
2 [地球] を選ぶ

- [地球] (Webサービスへ画像を送信) を選び、〈SET〉を押します。



3 Webサービスを選ぶ

- 接続するWebサービスを選び、〈SET〉を押します。
- 表示される項目や順番は、設定によって異なります。
- 接続するWebサービスは、あとから変更することもできます (p.98)。
- ➔ カメラの〈(P)〉ランプが点滅します。
- ➔ [送信先] 画面 (p.97) が表示されたときは、送信先を選んでから手順4に進みます。



4 [ネットワークを検索] を選ぶ

- 〈▲〉 〈▼〉 を押して [ネットワークを検索] を選び、〈SET〉 を押します。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、次の画面に進みます。



5 アクセスポイントを選ぶ

- 〈SET〉 を押すと、アクセスポイントが選択できるようになります。
- 〈▲〉 〈▼〉 を押してアクセスポイントを選び、〈SET〉 を押します。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、次の画面に進みます (p.91)。

- ① SSIDの先頭部分を表示
- ② アクセスポイントが暗号化されているときはアイコンを表示
- ③ 使用しているチャンネルを表示

アクセスポイントの暗号化について

このカメラは、下記の [認証方式] と [暗号化の設定] に対応しています。そのため、アクセスポイントの暗号化は、下記のいずれかの設定にしてください。

- [認証方式] : オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK
- [暗号化の設定] : WEP、TKIP、AES

[接続先入力] と [再検索] について

- [接続先入力] を選んで 〈SET〉 を押すと、手動でアクセスポイントに関する設定ができます。仮想キーボードでSSIDを入力してから、表示される内容に従って設定してください。
- [再検索] を選んで 〈SET〉 を押すと、アクセスポイントを再検索します。

無線LANの暗号キーを設定する

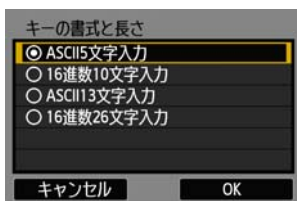
〔IPアドレス設定〕画面が表示されているときは、手順9に進んでください。

アクセスポイントに設定されている暗号キーを設定します。設定されている暗号キーについては、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。

なお、下記の手順6～8で表示される画面は、アクセスポイントに設定されている認証方式と暗号方式によって異なります。



- 6 ● [キーインデックス] の画面は、アクセスポイントの暗号方式がWEPのときに表示されます。
- <▲> <▼> を押してアクセスポイントに設定されているキーインデックスの番号を選び、<SET> を押します。
 - [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。

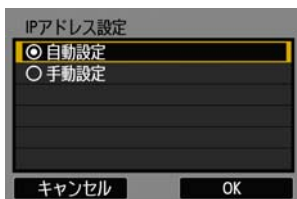


- 7 ● <▲> <▼> を押してキーの書式と長さを選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。



- 8 ● 仮想キーボード (p.14) で暗号キーを入力します。
- [IPアドレス設定] 画面 (p.92) が表示されます。

IPアドレスを設定する



9 [自動設定] を選ぶ

- <▲><▼>を押して [自動設定] を選び、<SET>を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、設定を自動的に保存したあとで、カード内の画像が表示されます。




- カメラの <(Wi-Fi)> ランプが青色に点灯します。
- [自動設定] でエラーが表示されたときや手動で設定するときには、132ページを参照してください。

10 送信する画像を選ぶ

- 画像を選んで送信します。送信方法は93ページを参照してください。

これでWebサービスとのネットワーク設定は完了です。

 IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

Webサービスに画像を送信する

撮影した動画や静止画を、CANON iMAGE GATEWAYなど、カメラに登録したWebサービスへ送信して共有できます。

送信した画像は、CANON iMAGE GATEWAYのオンラインアルバムに保存され、各Webサービスにはリンク先が送信されます。なお、選んだWebサービスや設定により、Webサービスに画像を直接送信することもできます。

1枚ずつ送信する

画像を選んで1枚ずつ送信します。



1 送信する画像を選ぶ

- <◀> <▶> を押して送信する画像を選び、<SET> を押します。
- インデックス表示からも選べます。



2 [この画像を送信] を選ぶ

- [画像サイズ縮小] を選んで<SET>を押すと、送信する画像サイズを選択できます。
- <◀> <▶> を押して [この画像を送信] を選び、<SET> を押します。
- ➔ 送信状態を示す画面が表示されます。
- 送信の完了画面で [OK] を選んで<SET>を押すと、接続が終了します。
- 送信するWebサービスによっては、[利用規約の確認] 画面が表示されます。利用規約をよくお読みのうえ、<◀> <▶> を押して [同意する] を選び、<SET> を押します。
- <▲> <▼> を押すと、画面をスクロールできます。



画像を選んで送信する

複数の画像を選択して送信します。



1 〈SET〉を押す



2 [選んで送信] を選ぶ

- [画像サイズ縮小] を選んで〈SET〉を押すと、送信する画像サイズを選択できます。
- 〈◀〉〈▶〉を押して [選んで送信] を選び、〈SET〉を押します。



3 送信する画像を選ぶ

- 〈◀〉〈▶〉を押して送信する画像を選び、〈SET〉を押します。
- ➔ 送信する画像の左上に [✓] が表示されません。



- 広げた指2本を液晶モニターに触れたまま閉じると、3画像表示で選べます。閉じた指2本を液晶モニターに触れたまま開くと、1枚表示に戻ります。
- 送信する画像の選択が終わったら、〈▲〉を押します。



4 画像サイズを縮小する

- 必要に応じて設定します。
- 送信先が YouTube のときは、[画像サイズ縮小] は表示されません。
- 表示される画面で〈▲〉〈▼〉を押して画像サイズを選び、〈SET〉を押します。



5 画像を送信する

- 〈▲〉〈▼〉を押して [送信] を選び、〈SET〉を押します。
- ➔ 送信状態を示す画面が表示されます。
- 送信の完了画面で [OK] を選んで 〈SET〉を押すと、接続が終了します。
- 送信する Web サービスによっては、[利用規約の確認] 画面が表示されます。利用規約をよくお読みのうえ、〈◀〉〈▶〉を押して [同意する] を選び、〈SET〉を押します。
- 〈▲〉〈▼〉を押すと、画面をスクロールできます。



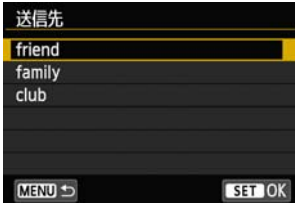
- 下記の条件では、送信先のWebサーバーに空き容量がない場合、送信に失敗していても、送信エラーが表示されないことがあります。
 - ・ 画像サイズを縮小して送信した場合
 - ・ CANON iMAGE GATEWAY以外のWebサービスに、画像を直接送信した場合
- 接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続を終了します。
- 送信する枚数が多いときやファイルサイズ（合計容量）が大ききときは、電池の残量にご注意ください。

- 送信できるファイルの容量や動画の再生時間などの制限については、送信先のWebサイトでご確認ください。
- 一度に50ファイルまで選択できます。なお、YouTubeに送信するときは、一度に10ファイルまで選択できます。
- 画像を縮小するときは、同時に送信する画像がすべて縮小されますが、動画や選択した画像サイズより小さい画像は縮小されません。
- [S2に縮小]、[S3に縮小] が有効になるのは、EOS M2で撮影された静止画だけです。それ以外のカメラで撮影された画像は、サイズを縮小せずに送信します。
- パソコンからCANON iMAGE GATEWAYにアクセスすると、登録したWebサービスの送信履歴が確認できます。
- 画像を送信しないで接続を終了するときは、手順1の画面で〈MENU〉ボタンを押します。
- ファイルサイズ（合計容量）は、縮小する前のサイズが表示されます。
- 送信中は、カメラの〈P〉ランプが速く点滅します。

送信先を選ぶ

登録した送信先に、投稿した画像へのリンクを送信します。

送信先の登録や送信時の設定は、パソコンで行います。設定方法については、EOS Utility使用説明書（CD-ROM）を参照してください。



- [Webサービスへ画像を送信] 画面で [✉]（メール）などを選んだときは、[送信先] 画面が表示されます。
- 登録した送信先の一覧から送信先を選び、〈SET〉を押します。
- 接続設定や画像の送信方法は、他のWebサービスと同じです。

再接続する

接続設定を登録したWebサービスに再度接続します。アクセスポイントとの接続が完了していれば、Webサービスごとに接続設定をしなくても接続できます。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



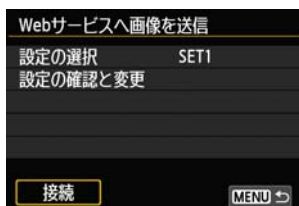
2 [地球儀] を選ぶ

- [地球儀] (Webサービスへ画像を送信) を選び、〈SET〉を押します。



3 Webサービスを選ぶ

- 項目を選び、〈SET〉を押します。
- [送信先] 画面 (p.97) が表示されたときは、送信先を選んでから手順4に進みます。



4 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- Webサービスに再接続します。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

複数の接続設定を登録する

Webサービスとの接続設定を、3つまで登録できます。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



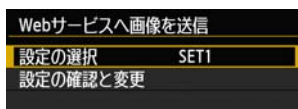
2 [Webサービスへ画像を送信] を選ぶ

- [Webサービスへ画像を送信] (Webサービスへ画像を送信) を選び、〈SET〉を押します。



3 Webサービスを選ぶ

- 項目を選び、〈SET〉を押します。
→ [送信先] 画面 (p.97) が表示されたときは、送信先を選んでから手順4に進みます。



4 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。



5 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。
→ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、接続設定を行ってください。

9

メディアプレーヤーで画像閲覧

カメラにセットされたカード内の画像を、無線LANを経由してテレビで閲覧できます。

この機能を利用するには、DLNA*対応のテレビやゲーム機、スマートフォンなどのメディアプレーヤーが必要です。以降の説明では、メディアプレーヤーと総称しています。

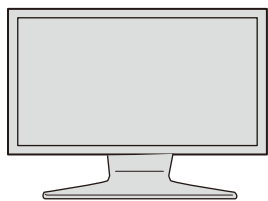
* Digital Living Network Allianceの略

DLNA対応のテレビなどが、アクセスポイントに接続していることを前提に説明しています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。

撮影した画像をテレビに映す

メディアプレーヤーを操作して、カメラにセットされたカード内の画像をテレビに映します。なお、RAW画像と動画は映せません。

ここからの操作は、すべてメディアプレーヤーで行います。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。



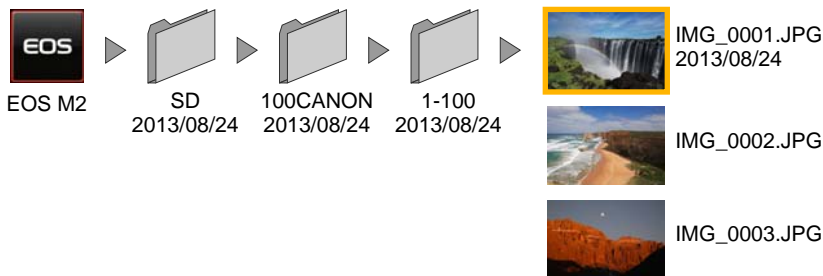
1 テレビにメディアプレーヤーの設定画面を表示する

- メディアプレーヤー機能を使用して、テレビに〈EOS M2〉(メディアプレーヤー)アイコンを表示します。
- メディアプレーヤーによっては、別のアイコンが表示されることがあります。その場合は、「EOS M2」と表示されているアイコンを探してください。

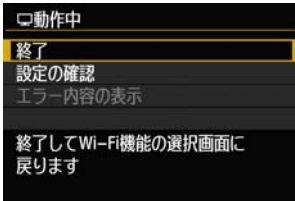


2 〈EOS M2〉(メディアプレーヤー)アイコンを選ぶ

- 〈EOS M2〉アイコンを選ぶとカードが表示され、さらに選んでいくと、フォルダと画像が選択できます。
- 画像を選んでテレビに大きく表示できます。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。

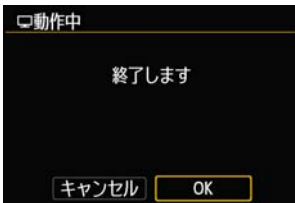


接続を終了する



1 [終了] を選ぶ

- [終了] を選び 〈SET〉 を押します。



2 [OK] を選ぶ

- 〈◀〉 〈▶〉 を押して [OK] を選び、〈SET〉 を押して接続を終了します。



- シャッターボタンを押したときや、モードダイヤルを操作したとき、カード/電池室ふたを開けたとき、電源を 〈OFF〉 にしたときも、接続が終了します。
- テレビに表示される画像情報と内容は、メディアプレーヤーによって異なります。また、メディアプレーヤーによっては、画像情報が表示されない場合や、縦位置表示が正常にできない場合があります。
- 「1-100」などと表示されているアイコンは、選んだフォルダ (***CANON) に入っている画像を、ファイル番号別に分けたものです。
- 画像に表示される年月日は、画像に付加されている Exif 情報を元に表示しています。
- カードやフォルダに表示される年月日は、カメラに設定されている今日の日付けが表示されることがあります。
- 無線LANの接続先を検索中に、カメラの節電機能が働いたときは、接続を終了します。

再接続する

接続設定を登録したメディアプレーヤーに再度接続します。



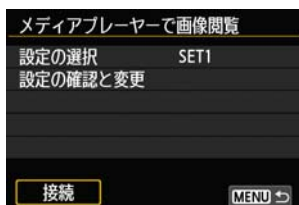
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [] を選ぶ

- [] (メディアプレーヤーで画像閲覧) を選び、〈SET〉を押します。



3 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で [OK] を選びます。
- メディアプレーヤーに再接続します。
- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

複数の接続設定を登録する

メディアプレーヤーとの接続設定を、3つまで登録できます。



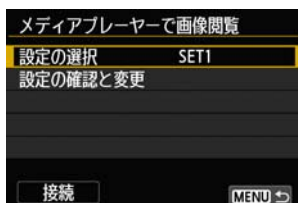
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi機能] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [PC] を選ぶ

- [PC] (メディアプレーヤーで画像閲覧) を選び、〈SET〉を押します。



3 [設定の選択] を選ぶ

- [設定の選択] を選び、〈SET〉を押します。



4 [未設定] を選ぶ

- [未設定] を選び、〈SET〉を押します。
→ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、接続設定を行ってください。

MEMO

10

再生画面から 無線 LAN に接続する

接続先の設定が完了している項目では、再生時のクイック設定から、無線LANに接続できます。



再生画面から接続先の設定はできません。接続先の設定は、メニュー画面から行ってください。

再生画面から接続する

接続先の設定が完了しているときは、再生画面からWi-Fi機能を使用できます。再生画面から接続できる機能は、[📷] (カメラ間で画像を送受信) / [🌐] (Webサービスへ画像を送信) の2項目です。



1 クイック設定画面を表示する

- 画像を再生した状態で〈Q〉ボタンを押して表示します。



2 Wi-Fi機能を選ぶ

- [📷] (Wi-Fi機能) を選び、〈SET〉を押します。
- [📧] タブの [Wi-Fi] が [使わない] に設定されていると、選択できません。

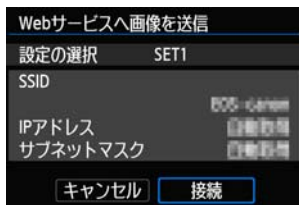


3 接続する項目を選ぶ

- 接続する項目を選び、〈SET〉を押します。
- 接続先が設定されていない項目は、灰色で表示されます。



- ➔ [🌐] (Webサービスへ画像を送信) を選んだ場合は、Webサービスの選択画面が表示されます。接続する項目を選び、〈SET〉を押します。
- ➔ [送信先] 画面 (p.97) が表示されたときは、送信先を選んでから手順4に進みます。



4 接続する

- [接続] を選び、〈SET〉を押します。
- カード内の画像が表示され、送信する画像が選択できるようになります。
- 接続先の設定が複数登録されているときは、[設定の選択] を選び、接続先を選んでから接続します。

11

設定の確認／変更／初期化

設定の確認と変更

ネットワーク設定の確認と変更を行います。設定を変更する場合は、接続を終了してから操作します。

接続を終了している場合



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [Wi-Fi] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 設定を確認する項目を選ぶ

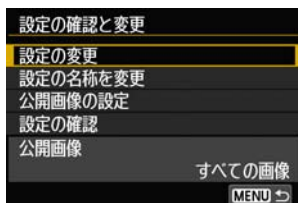
- <Wi-Fi> を押して項目を選び、<SET> を押します。
- [Globe] を選んだ場合は、Web サービスの選択画面が表示されます。どの項目を選んでも、表示される設定内容は同じです。



3 [設定の確認と変更] を選ぶ

- 接続先を選んでから [設定の確認と変更] を選び、<SET> を押します。
- [設定の確認と変更] 画面が表示されます。

設定の確認と変更画面について



【設定の変更】

- 設定内容を変更します。[設定の変更] を選ぶと、接続設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、もう一度接続設定を行ってください。

【設定の名称を変更】

- 設定の名称を変更します。[設定の名称を変更] を選び、仮想キーボード (p.14) で設定の名称を入力します。

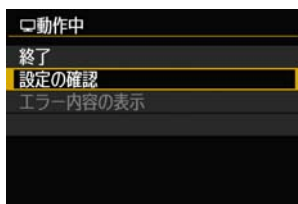
【公開画像の設定】 (p.35、67)

- [□] (スマートフォンと通信) を選んだときに表示されます。設定した内容が画面の下側に表示されます。

【設定の確認】

- 設定内容を確認します。[設定の確認] を選ぶと、設定内容が表示されます。

接続中の場合



【設定の確認】が表示されているときは、接続中も設定の確認ができます。

無線LANの設定を初期化する

無線LANの設定をすべて削除します。カメラを貸与したり譲渡したときに、無線LANの設定が流出することを防止できます。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [F2] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



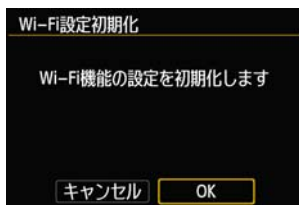
2 <INFO.> ボタンを押す

- 共通設定画面が表示されます。



3 [Wi-Fi設定初期化] を選ぶ

- <▲> <▼> を押して [Wi-Fi 設定初期化] を選び、<SET> を押します。

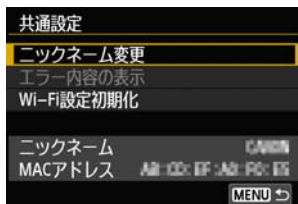


4 [OK] を選ぶ

- [OK] を選び、<SET> を押します。
- [Wi-Fi 機能] の設定が初期化され、メニュー画面に戻ります。

共通設定画面について

前ページの手順3で表示される【共通設定】画面では、無線LAN設定の変更や確認ができます。



【ニックネーム変更】

- ニックネームを変更します。【ニックネーム変更】を選び、仮想キーボード (p.114) でニックネームを入力します。

【エラー内容の表示】

- 接続エラー発生時に選択できます。【エラー内容の表示】を選ぶと、接続エラーの内容が確認できます (p.118)。

【Wi-Fi設定初期化】 (p.114)

- 無線LANの設定をすべて削除します。

【ニックネーム】

- カメラに設定されているニックネームが確認できます。

【MACアドレス】

- カメラのMACアドレスが確認できます。



【4: 設定解除】を行っても、【Wi-Fi機能】の設定は初期化されません。

MEMO

12

トラブルシューティング

エラー表示の対応

接続エラーが発生したときは、下記のいずれかの方法でエラー内容を表示してください。その後、この章の対応例を参考にしてエラーの原因を取り除いてください。

- [▼2: Wi-Fi機能] → [共通設定] → [エラー内容の表示] を選んで〈SET〉を押す。
- [▼2: Wi-Fi機能] を選んで〈SET〉を押す。

下記のエラー番号のページをクリックすると該当ページにジャンプします。

11 (p.119)	12 (p.119)			
21 (p.119)	22 (p.120)	23 (p.121)		
61 (p.121)	63 (p.122)	64 (p.122)	65 (p.122)	66 (p.123)
67 (p.123)	68 (p.123)	69 (p.123)		
91 (p.123)				
101 (p.124)	102 (p.124)	103 (p.124)	104 (p.124)	105 (p.125)
106 (p.125)	107 (p.125)	108 (p.125)	109 (p.125)	
121 (p.125)	122 (p.125)	123 (p.126)	124 (p.126)	125 (p.126)
126 (p.126)	127 (p.126)			
141 (p.126)				

11：接続先が見つかりません

- [□] の場合、EOS Remoteは起動していますか？
- EOS Remoteから接続操作を行ってください (p.32、64)。
- [凸] の場合、プリンターの電源は入っていますか？
- プリンターの電源を入れてください。
- カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？
- 暗号化の認証方式が [オープン] の設定で、暗号キーを間違えるとこのエラーになります。
大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラに設定してください (p.57、91)。

12：接続先が見つかりません

- 接続先の機器とアクセスポイントの電源は入っていますか？
- 接続先の機器とアクセスポイントの電源を入れてください。

21：DHCP サーバーからアドレスが割り当てられていません

カメラの確認内容

- カメラの設定がIPアドレス [自動取得] になっています。この設定で間違いありませんか？
- DHCPサーバーを使用していない場合は、カメラをIPアドレス [手動設定] にして設定を行ってください (p.132)。

DHCPサーバーの確認内容

- DHCPサーバーの電源は入っていますか？
- DHCPサーバーの電源を入れてください。
- DHCPサーバーから割り当てられるアドレスに余裕がありますか？
- DHCPサーバーが割り振るアドレスを増やしてください。
- DHCPサーバーからアドレスが割り振られている端末を、ネットワークから外して減らしてください。
- DHCPサーバーは正常に機能していますか？
- DHCPサーバーの設定を確認して、DHCPサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
- ネットワーク管理者がいるときは、DHCPサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

22：DNS サーバーから応答がありません

カメラの確認内容

- カメラに設定しているDNSサーバーのIPアドレスは合っていますか？
→ IPアドレス [手動設定] にして、使用するDNSサーバーと同じIPアドレスをカメラに設定してください (p.132、134)。

DNSサーバーの確認内容

- DNSサーバーの電源は入っていますか？
→ DNSサーバーの電源を入れてください。
- DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定していますか？
→ DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定してください。
- DNSサーバーは正常に機能していますか？
→ DNSサーバーの設定を確認して、DNSサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
→ ネットワーク管理者がいるときは、DNSサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

ネットワーク全体の確認内容

- 接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？
→ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください (p.132、134)。
→ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

23： ネットワーク上に同じ IP アドレスの機器が存在します

カメラの確認内容

- カメラと同じネットワークに接続している機器が、カメラと同じ IP アドレスを使用していませんか？
- ➔ カメラの IP アドレスを変更して、同じネットワークに接続している機器と IP アドレスが重複しないようにしてください。または、IP アドレスが重複している他の機器の IP アドレスを変更してください。
- ➔ DHCP サーバーを使用するネットワーク環境で、カメラが IP アドレス [手動設定] の設定になっているときは、IP アドレス [自動設定] の設定にしてください (p.58、92、132)。



エラー 20番台の対応について

エラー 21～23が表示された場合は、下記の確認も行ってください。

カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？

- ➔ 暗号化の認証方式が [オープン] の設定で、暗号キーを間違えるとこのエラーになります。大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラに設定してください (p.57、91)。

61： 同じ SSID の無線 LAN 端末が見つかりません

- アクセスポイントのアンテナとカメラの間に、見通しをさえぎる障害物はありませんか？
- ➔ アクセスポイントのアンテナを、カメラからよく見える場所に移動してください (p.128)。

カメラの確認内容

- カメラにアクセスポイントと同じ SSID を設定していますか？
- ➔ アクセスポイントの SSID を確認して、同じ SSID をカメラに設定してください (p.56、90、134)。

アクセスポイントの確認内容

- アクセスポイントの電源は入っていますか？
- ➔ アクセスポイントの電源を入れてください。
- MAC アドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録していますか？
- ➔ 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MAC アドレスは [共通設定] 画面 (p.115) で確認できます。

63：無線 LAN の認証に失敗しました

- カメラとアクセスポイントで、同じ認証方式を設定していますか？
- カメラで設定できる認証方式は、[オープン]、[共有キー]、[WPA-PSK]、[WPA2-PSK] です (p.56、90)。
- AirMac でインフラストラクチャーを行うときは、[オープン] では接続できません。カメラに [共有キー] を設定してください (p.56、90)。
- カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？
- 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラとアクセスポイントに設定してください (p.57、91)。
- MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラの MACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？
- 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは [共通設定] 画面 (p.115) で確認できます。

64：無線 LAN 端末に接続できません

- カメラとアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか？
- カメラで設定できる暗号化方式は、[WEP]、[TKIP]、[AES] です (p.56、90)。
- MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラの MACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？
- 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは [共通設定] 画面 (p.115) で確認できます。

65：無線 LAN の接続が切れました

- アクセスポイントのアンテナとカメラの間に、見通しをさえぎる障害物はありませんか？
- アクセスポイントのアンテナを、カメラからよく見える場所に移動してください (p.128)。
- 何らかの理由で、無線LANの接続が切れ、再接続できない状態になっています。
- アクセスポイントにほかの機器からのアクセスが集中している場合や、電子レンジなどが近くで使用されている場合 (IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz帯))、雨天や高湿度などの影響が考えられます (p.128)。

66：無線 LAN の暗号キーが違います

- カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？
- 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラとアクセスポイントに設定してください (p.57、91)。

67：無線 LAN の暗号方式が違います

- カメラとアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか？
- カメラで設定できる暗号化方式は、[WEP]、[TKIP]、[AES] です (p.56、90)。
- MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているカメラの MACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？
- 使用しているカメラの MAC アドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは [共通設定] 画面 (p.115) で確認できます。

68：無線 LAN 端末に接続できませんでした。始めからやり直してください。

- アクセスポイントの WPS (Wi-Fi Protected Setup) ボタンは、アクセスポイントで指示されている時間押しつづけましたか？
- WPS ボタンをアクセスポイントの使用説明書で指示されている時間押しつづけてください。
- アクセスポイントのすぐ近くで接続操作をしていますか？
- 両方の機器にすぐ手が届く距離で接続操作を行ってください。

69：複数の無線 LAN 端末を検出したため、接続できませんでした。始めからやり直してください。

- ほかのアクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) の PBC 方式 (プッシュボタン接続方式) で接続操作を行っています。
- しばらく待ってから接続操作を行うか、PIN 方式 (ピンコード接続方式) で接続操作を行ってください (p.52、86)。

91：その他のエラー

- エラー 11～69以外の異常が発生しました。
- カメラの電源を入れ直してください。

101： 接続に失敗しました

- 接続するカメラ側でもカメラ間の接続操作を行っていますか？
→ 接続するカメラ側でもカメラ間の接続操作を行ってください。
- 接続設定を登録したカメラ同士で、接続を解除したあと再接続するときには、両方のカメラで再接続の操作を行ってください。
- 複数のカメラが接続しようとしていませんか？
→ 一度に接続できるカメラは1台だけです。近くで接続操作を行っているカメラが無いか確認し、再度接続操作を行ってください。

102： 送信に失敗しました

- 受信側カメラのカード残量が不足していませんか？
→ 受信側カメラのカードを確認し、カードを交換するか、十分な容量を確保してから再度送信してください。
- 受信側カメラのカードがロックされていませんか？
→ 受信側カメラのカードを確認し、ロックを解除してから再度送信してください。
- 受信側カメラのフォルダー番号が999で、画像番号が9999になっていませんか？
→ フォルダーやファイル名を自動生成できません。受信側カメラのカードを交換してから、再度送信してください。
- カードは正常に動作していますか？
→ 受信側カメラのカードを交換してから、再度送信してください。

103： 受信に失敗しました

- 受信側カメラはデータを受信できる状態ですか？
→ 受信側カメラのバッテリーや通信状態を確認し、再度送信してください。

104： 受信に失敗しました。カードがいっぱいです

- 受信側カメラのカード残量が不足していませんか？
→ 受信側カメラのカードを確認し、カードを交換するか、十分な容量を確保してから再度送信してください。

105：受信に失敗しました。カードのスイッチが書き込み禁止位置になっています

- 受信側カメラのカードがロックされていませんか？
- 受信側カメラのカードを確認し、ロックを解除してから再度送信してください。

106：受信に失敗しました。フォルダと画像番号がいっぱいです

- 受信側カメラのフォルダ番号が999で、画像番号が9999になっていませんか？
- フォルダやファイル名を自動生成できません。受信側カメラのカードを交換してから、再度送信してください。

107：受信に失敗しました。カードにアクセスできません

- カードは正常に動作していますか？
- 受信側カメラのカードを交換してから、再度送信してください。

108：接続が切断されました

- 接続先のカメラが接続を解除していませんか？
- 通信状態を確認し、カメラ間の接続をやり直してください。

109：エラーが発生しました

- カメラ間の接続中に、エラー 101～108以外の異常が発生しました。
- カメラ間の接続をやり直してください。

121：サーバーの空き容量が不足しています

- 送信先Webサーバーの空き容量が不足しています。
- Webサーバー内の不要な画像を削除し、Webサーバーの空き容量を確認してから再度送信してください。

122：パソコンと接続し、EOS 用ソフトウェアで Web サービスの設定をし直してください

- Webサービスの設定に失敗した可能性があります。
- カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、EOS Utilityで Webサービスの設定 (p.81) をやり直してください。

123： Web サービスにログインできません。パソコンと接続し、EOS 用ソフトウェアで設定し直してください

- カメラの登録情報やカメラに登録したWebサービスが、CANON iIMAGE GATEWAY上で削除されていませんか？
- カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、EOS Utilityで Webサービスの設定 (p.81) をやり直してください。

124： SSL 証明書が無効です。パソコンと接続し、EOS 用ソフトウェアで設定し直してください

- ルート証明書が期限切れであるか、ルート証明書が不正です。
- カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、EOS Utilityで Webサービスの設定 (p.81) をやり直してください。

125： ネットワークの設定を確認してください

- ネットワークが接続されていますか？
- ネットワークの接続状態を確認してください。

126： サーバーと接続できませんでした

- CANON iIMAGE GATEWAYがメンテナンス中か、一時的に負荷が集中しています。
- しばらくしてからWebサービスの接続をやり直してください。

127： エラーが発生しました

- Webサービスの接続中に、エラー 121～126以外の異常が発生しました。
- Webサービスの接続をやり直してください。

141： プリンターは処理中です。もう一度接続して下さい

- プリンターが印刷中ではありませんか？
- 印刷が終わってから接続をやり直してください。
- プリンターにほかのカメラが接続していませんか？
- ほかのカメラの接続を終了してから、接続をやり直してください。

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と思ったら、下記の例を参考にしてカメラをチェックしてください。なお、チェックしても状態が改善しないときは、別紙の修理受付窓口にご相談ください。

ケーブルで接続した機器が使えない

- [▼2: Wi-Fi] を [使わない] に設定してください。[使う] に設定していると、インターフェースケーブルやステレオAVケーブル、HDMIケーブルでカメラとパソコン、プリンター、GPSレシーバー、テレビなどを接続しても使用できません (p.16)。

[Wi-Fi] を [使う] に設定できない

- ケーブルでカメラとパソコン、プリンター、GPSレシーバー、テレビなどを接続していると、[▼2: Wi-Fi] を [使う] に設定できません (p.16)。

無線LANでの注意事項

無線LAN使用時に「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときは、下記の例を参考にして対応してみてください。

アクセスポイント、またはアンテナの設置場所について

- 室内で使用する場合、撮影している部屋に設置してください。
- カメラよりも高い場所に設置してください。
- カメラとの間に、人や遮蔽物が入らない場所に設置してください。
- カメラにできるだけ近付けて設置してください。特に、雨天屋外で使用すると、電波が雨に吸収されて接続が途切れる場合があります。

近くにある電子機器について

下記の電子機器の影響で無線LANの通信速度が遅くなるときは、電子機器の使用をやめるか、機器から離れた場所で通信を行ってください。

- カメラのIEEE 802.11b/g/nは、2.4GHz帯の電波を使用して無線LANを行っています。そのため、同じ周波数帯を使用する電子レンジやコードレス電話機／マイクなどを使うと無線LANの通信速度が遅くなります。
- カメラと同じ周波数帯を使用するWi-Fi機器が近くで稼動していると、無線LANの通信速度が遅くなります。

カメラを複数使うときの注意

- 1つのアクセスポイントに複数のカメラを接続するときは、カメラのIPアドレスが重複しないよう注意してください。
- 1つのアクセスポイントに複数のカメラを接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz帯) のアクセスポイントが複数あるときは、電波干渉を少なくするために、無線LANのチャンネルを、「1/6/11」、「2/7」、「3/8」というように4チャンネル分、間を開けてください。

セキュリティについて

- 無線LANの電波は、簡単に傍受できます。そのため、アクセスポイントの設定で電波を暗号化することをおすすめします。

ケーブルの接続について

- [▼2:Wi-Fi] を [使う] に設定しているときは、インターフェースケーブルやステレオAVケーブル、HDMIケーブルの接続が無効になります。[使わない] に設定してからケーブルを接続してください。
- ケーブルでパソコン、プリンター、GPSレシーバー、テレビなどに接続しているときは、[Wi-Fi] の設定を変更できません。ケーブルを抜いてから設定してください。

Eye-Fi カードの使用について

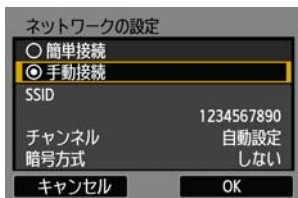
- [▼2:Wi-Fi] を [使う] に設定しているときは、Eye-Fiカードでの画像転送はできません。

Wi-Fi 通信部について

- Wi-Fi通信部を手や物などでふさがないようにください (p.16)。

ネットワークを手動で設定する

カメラアクセスポイントモードのネットワーク設定を手動で行います。表示される画面にしたがって [SSID]、[チャンネル設定]、[暗号化の設定] を設定します。



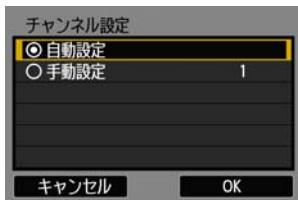
1 [手動接続] を選ぶ

- <▲><▼> を押して [手動接続] を選び、<SET> を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。



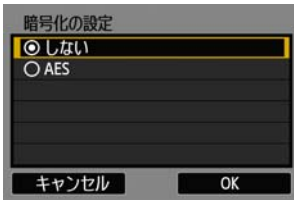
2 SSID (ネットワーク名) を入力する

- 仮想キーボード (p.14) で任意の文字列を入力します。
- 入力が終わったら [OK] を選び、<SET> を押します。



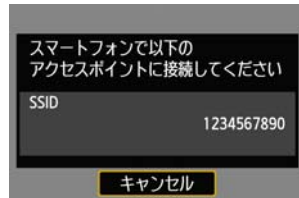
3 チャンネル設定を選ぶ

- 項目を選び、<SET> を押します。
- 手動で設定するときには、[手動設定] を選び、<●> を回して設定します。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。



4 暗号化の設定を選ぶ

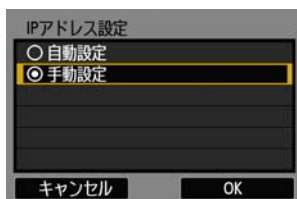
- 項目を選んで〈SET〉を押します。
- 暗号化するときは [AES] を選び、仮想キーボード (p.14) で任意の暗号キーを入力します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、設定したSSIDや暗号の設定が表示されます。



- これ以降の操作は [簡単接続] を選んだときと同じです。

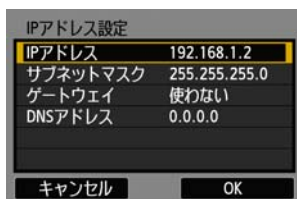
IPアドレスを手動で設定する

インフラストラクチャーモードのIPアドレス設定を手動で行います。なお、表示される項目はWi-Fi機能によって異なります。



1 [手動設定] を選ぶ

- <▲><▼>を押して [手動設定] を選び、<SET>を押します。
- [OK] を選んで <SET> を押します。



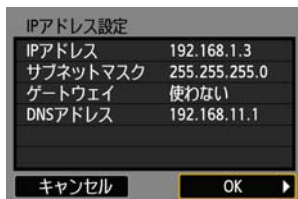
2 設定する項目を選ぶ

- <▲><▼>を押して項目を選び、<SET>を押すと数値の入力画面が表示されます。
- ゲートウェイを使う場合は、[使う] を選んでから [アドレス] を選び、<SET>を押します。



3 数値を入力する

- <⦿>を回して上側の入力場所を選び、<◀><▶>を押して入力する数値を選びます。<SET>を押すと選んだ数値が入力されます。
- <▼>を押して [OK] を選び <SET> を押すと、入力を確定して手順2の画面に戻ります。



4 [OK] を選ぶ

- 必要な項目の設定が完了したら〈▲〉〈▼〉を押して [OK] を選び、〈SET〉を押します。
- 通信方法に応じた設定画面が表示されます。
- 設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』(p.134) を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。

ネットワークの設定を確認する

Windows

Windowsの [スタート] ボタン → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選びます。ipconfig/allと入力して、〈Enter〉キーを押します。

パソコンに割り当てられているIPアドレスのほかに、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバーの情報が表示されます。

なお、132ページでカメラに割り当てるIPアドレスを設定するときは、パソコンやほかのネットワーク接続機器とIPアドレスが重複しないよう、一番右側の数字を変えて設定します。

例) 192.168.1.10

Macintosh

Mac OS Xの [ターミナル] を開き、ifconfig -aと入力して〈Return〉キーを押します。[en0] 項目 [inet] の ***.*.*.*.* がパソコンに割り当てられているIPアドレスです。

なお、132ページでカメラに割り当てるIPアドレスを設定するときは、パソコンやほかのネットワーク接続機器とIPアドレスが重複しないよう、一番右側の数字を変えて設定します。

* [ターミナル] については、Mac OS Xのヘルプを参照してください。

例) 192.168.1.10

13

資料

主な仕様

■無線LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
伝送方式	DS-SS変調方式 (IEEE 802.11b) OFDM変調方式 (IEEE 802.11g/n)
通信距離	約15m * スマートフォンと通信時 * 送受信アンテナ間に障害物、遮蔽物がなく、他の機器との電波干渉がない場合

送信周波数 (中心周波数)

周波数	チャンネル
2412~2462MHz	1~11ch

接続方法	インフラストラクチャーモード*、カメラアクセスポイントモード * Wi-Fi Protected Setup対応
セキュリティ	認証方式：オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化：WEP、TKIP、AES

■LAN機能

カメラ間で画像を送受信	1枚送信 画像選択送信 リサイズ送信
スマートフォンと通信	スマートフォンで画像の閲覧/操作/受信 スマートフォンでカメラをリモートコントロール
Wi-Fi対応プリンターで印刷	Wi-Fi対応プリンターへ印刷画像を送信
Webサービスへ画像を送信	登録したWebサービスへカメラ内の画像やリンク先を送信
メディアプレーヤーで画像閲覧	DLNA対応メディアプレーヤーを利用して画像を閲覧

● 記載データはすべて当社試験基準によります。

索引

英数字

Android	28, 47
CANON iMAGE GATEWAY	80
DLNA	3, 101
EOS Remote	28, 32, 47, 64
Eye-Fiカード	16
iOS	28, 47
IPアドレス	50, 53, 58, 85, 88, 92, 132
MACアドレス	115
PictBridge	39, 71
Wi-Fi対応プリンターで印刷	39, 71
(W) (Wi-Fi) ランプ	16
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	48, 82

あ

アクセスポイントの暗号化	56, 90
印刷	39, 71
インフラストラクチャー モード	49, 52, 55

か

画像閲覧	32, 64, 101
画像サイズを縮小	22, 95
画像を送信	20, 93
カメラアクセスポイントモード	29, 40
カメラ間で画像を送受信	17
キーボード	14
キヤノンイメージゲートウェイ	80
ケーブル	16
公開画像の設定	35, 67

さ

再接続	24, 34, 45, 66, 76, 98, 104
初期化	114
ステルス機能	49, 52, 83, 86
スマートフォンと通信	27, 61
接続機器を登録	25, 38, 46, 70, 77, 99, 105
設定の確認	112
設定の変更	113
設定の名称を変更	26
節電機能	15

た

タッチ操作	16
注意事項	128
トラブルシューティング	117

な

ニックネーム	12
--------	----

は

ピクトブリッジ	39, 71
ピンコード接続方式	52, 86
プッシュボタン接続方式	49, 83
プリンター	39, 71

ま

無線LANアクセスポイント	48, 82
メール	97
メディアプレーヤー	101

ら

リモート撮影	32, 64
--------	--------

わ

ワイファイ プロテクトド セットアップ	48, 82
------------------------	--------



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9：00～20：00

土・日・祝日 10：00～17：00

（1月1日～1月3日は休ませていただきます）

- ※ おかけ間違いのないようご注意ください。
- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
- ※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙の修理受付窓口でご確認ください。

キヤノンカメラサイトのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

canon.jp/eos